

都市景観基本計画・景観計画の見直しについて

②市民アンケート・ワークショップ等の 結果報告

「札幌市都市景観基本計画、札幌市景観計画」の見直しの検討に係る

市民アンケート調査結果

1.調査の概要

(1)調査の対象

札幌市にお住まいの18歳以上の市民3,000名を無作為に抽出し、調査の対象としました。

(2)調査の方法

調査票は、郵送により配布・回収しました。

(3)調査の期間

平成27年1月15日（木）～平成27年1月30日（金） ※集計は、平成27年2月16日（月）回収分までのものについて行いました。

(4)回収結果

729名の方からご回答いただき、回収率は24.3%でした。

(5)設問内容

問1 回答者の属性

- ・性別、年齢、職業、居住区
- ・現在の住まい周辺の建物立地状況、現在の住まいの居住年数
- ・札幌での居住年数、出身地、札幌市以外の居住経験
- ・都心を訪れる頻度、都心までの公共交通経路・乗車時間等

問2 札幌の景観について

- ・景観に対する日頃の意識について、札幌の魅力について
- ・札幌の景観に対する違和感や不満について

問3 お住まいの地域の景観について

- ・住まいの地域の景観の印象について、
- ・景観に関する取組への回答者の参加意欲について

問4 都心の景観について

- ・都心の景観の印象について、景観計画重点区域の各地区の印象について

問5 将来まで残したい札幌の景色や建物（自由回答）

問6 札幌の景観について（自由回答）

【札幌の景観について（全市的観点）】

- ・10年前と比較して、意識している割合は減っているが、意識していない割合は変わっていない。
- ・札幌の自然の魅力については、多くの方が「山なみ」について魅力的であると感じている。
- ・札幌の自然以外の魅力については、多くの方が「碁盤の目の街並み」が札幌の特徴であり、魅力的であると感じている。

【お住まいの地域の景観について】

- ・5～10年前と比較して良くなったと思うところとして「街なみが整った」、「公園がきれいになった」という割合が高く、悪くなったと思うところとして「空き家や空き店舗が増えた」という割合が高くなっている。
- ・良好な景観形成に向けて、現在行っているのは「自宅周辺の掃除」など敷地内で行う取組が多いが、今後は「地域活動への参加」など敷地外での取組をしたいという意見も多い。

【都心の景観について】

- ・都心に「魅力があると感じている」割合は7割以上と高く、特に若い世代で割合が高くなっている。
- ・札幌駅南口・札幌駅前通・大通の景観は、多くの方が魅力があると感じているが、札幌駅北口は魅力があると感じている割合は高くない。

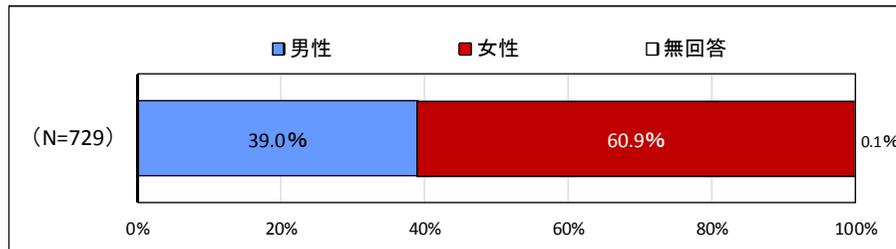
3.調査結果(詳細)

問1 回答者属性

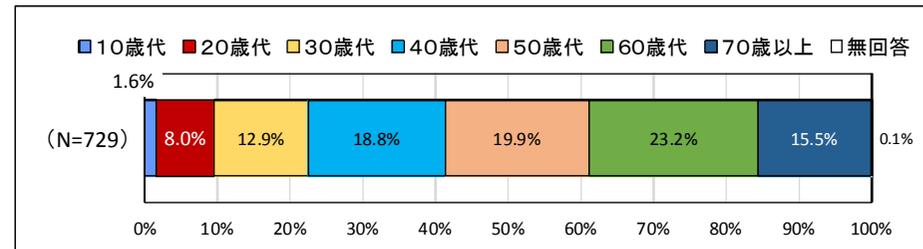
Q1.あなた自身のことについてお聞きします(あてはまるものに○)。

- ・約6割が女性、約4割が男性となっています。
- ・40歳以上が約7割で、60歳代が約2割と最も多くなっています。
- ・働いている方(会社員等、自営業)と無職の方(専業主婦、学生、無職)が約5割となっています。
- ・現在の住まいの区はほぼ均等となっています。
- ・居住地周辺の建物立地状況は、「戸建住宅が多く、マンション・アパートが混在している」という回答が約4割と最も多くなっています。
- ・居住年数は10~19年が最も多くなっています。

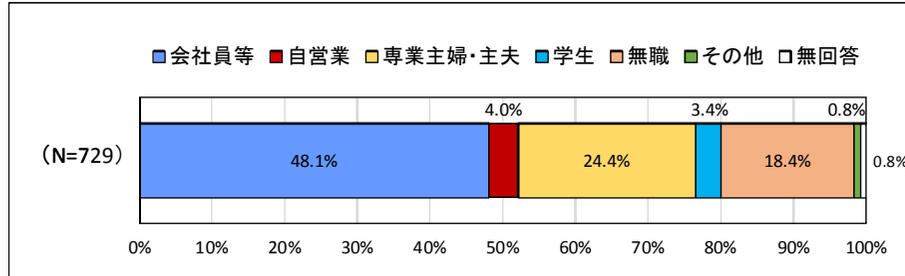
(1) 性別



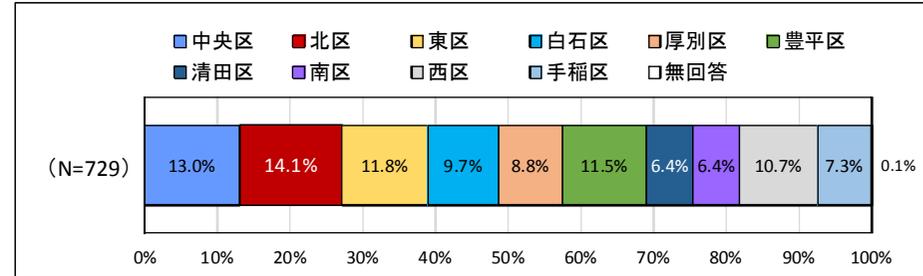
(2) 年齢



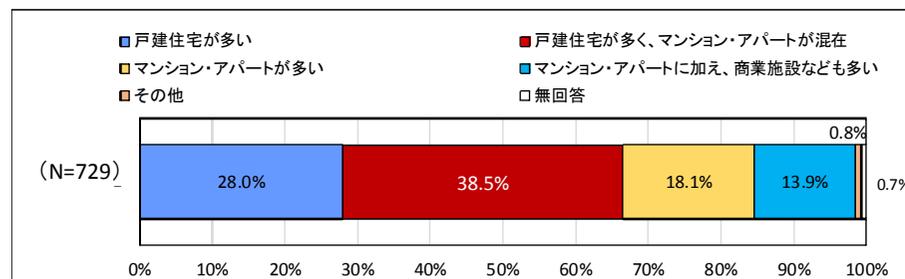
(3) 職業



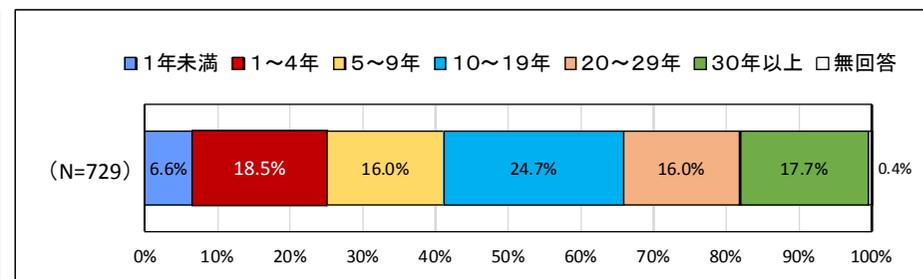
(4) 居住地



(5) 建物立地状況



(6) 居住年数(現在の住居)



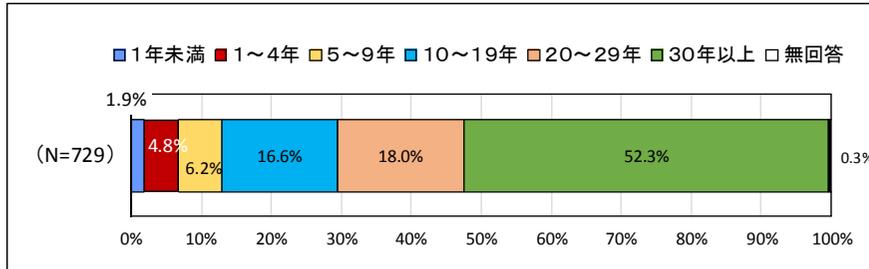
3.調査結果(詳細)

問1 回答者属性

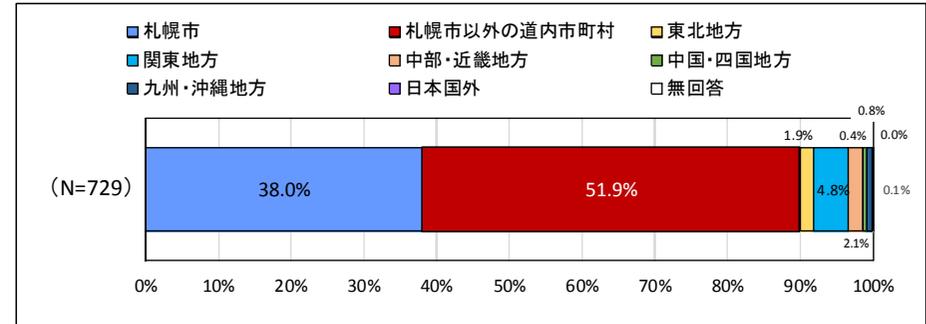
Q1.あなた自身のことについてお聞きします(あてはまるものに○)。

- ・札幌での居住年数は、30年以上という回答が約5割と最も多くなっています。
- ・出身地は札幌市以外の道内市町村が一番多く約5割となっており、次いで札幌市が約4割となっています。
- ・札幌市以外の居住経験は札幌市以外の道内市町村が最も多くなっています。
- ・都心を訪れる頻度は月2~3回程度が4割弱と最も多くなっています。

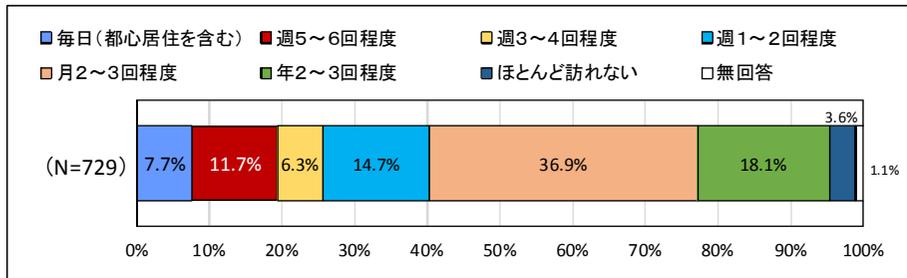
(6) 札幌市居住年数



(7) 出身地



(8) 都心を訪れる頻度



3.調査結果(詳細)

問2 札幌の景観について

Q1.あなたは生活の中で、どのくらい景観を意識していますか(1つに○)。

- ・「どちらかという意識している」という回答が約5割で、「とても意識している」と合わせると**約6割が景観を意識している**と回答しています。
- ・年齢別では特に**40歳代以上で景観を意識している割合が高くなっています**。一方で、**30歳代以下は景観を意識していないという割合が高くなっています**。
- ・平成17年度に行った札幌の都市景観についてのアンケートでも同じ質問をしており、平成17年度のアンケートと比べると、「とても意識している」割合が**1割ほど減っており**、「どちらかという意識していない」という割合が**1割ほど増えています**。

10年前と比較して意識している割合は減っているが、意識していない割合は変わっていない。

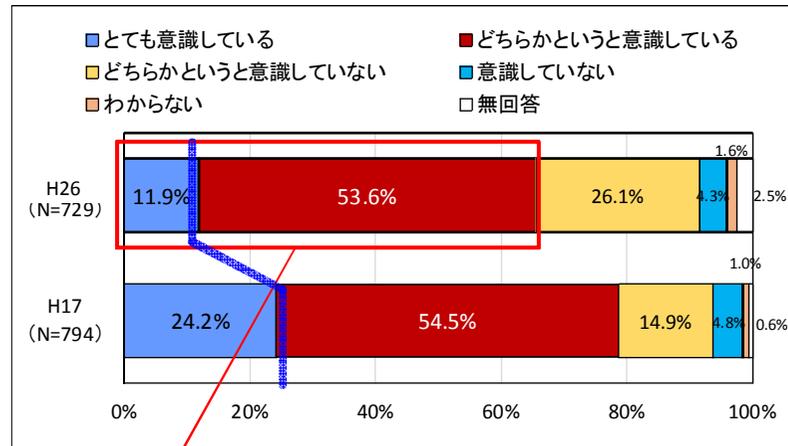


図1 景観に対する日頃の意識について (H17調査結果との比較)

景観を意識する: 6割

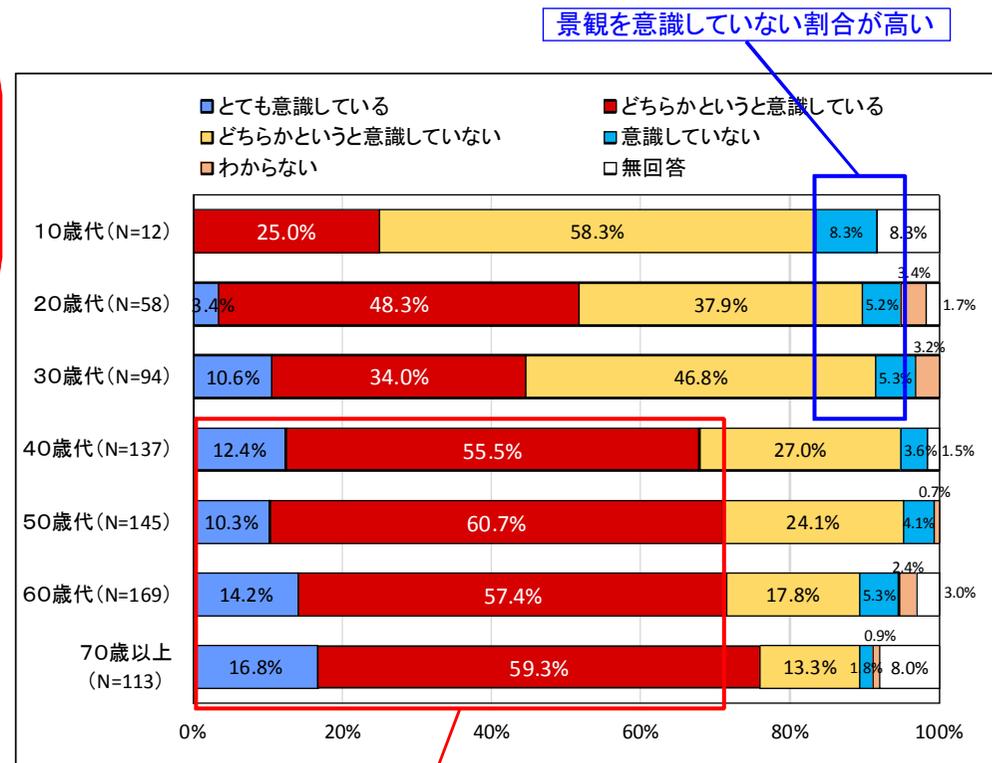


図2 景観に対する日頃の意識について(年代別)

景観を意識する割合が高い

3.調査結果(詳細)

問2 札幌の景観について

Q1.あなたは生活の中で、どのくらい景観を意識していますか(1つに○)。

・居住区別では、**中央区、清田区、手稲区の方がそれぞれ7割以上**で景観を意識しています。

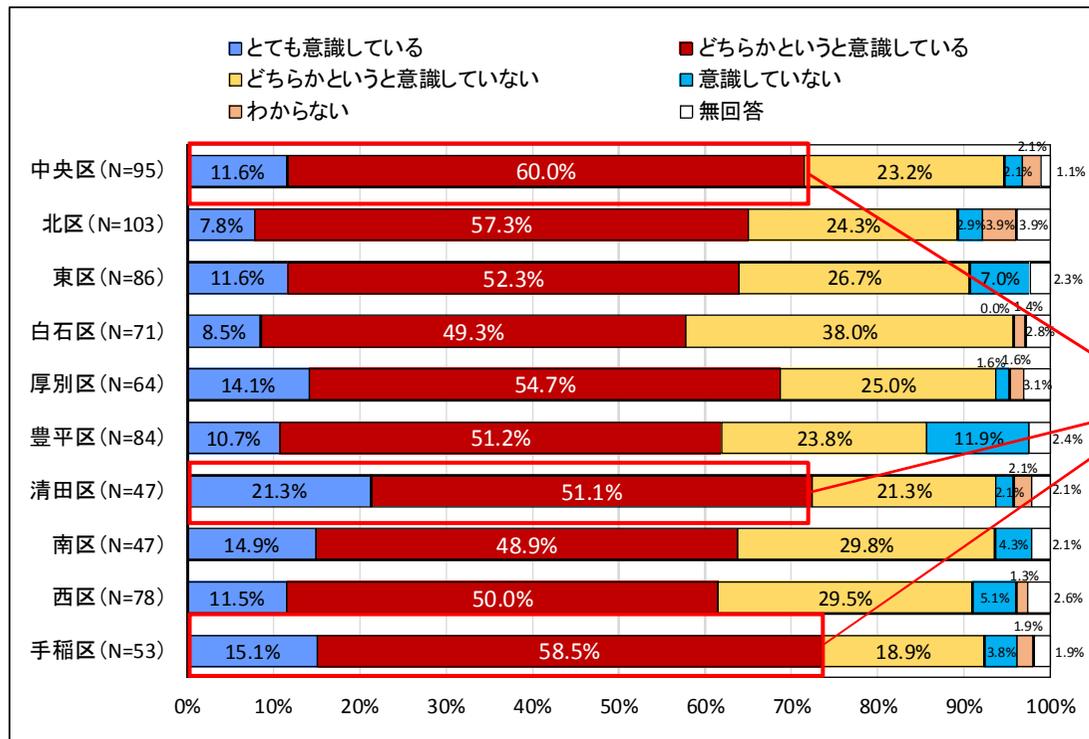


図3 景観に対する日頃の意識について(居住区別)

3.調査結果(詳細)

問2 札幌の景観について

Q2.札幌の自然やその他自然以外の魅力について、特に魅力を感じるものをお答えください(3つに○、そのうち最も魅力を感じるものに◎)。

(1) 自然の魅力

- 札幌の自然の魅力については、「手稲山や藻岩山などの山なみ」が6割強と最も多く、次いで、豊平川や創成川などの水辺空間、大小さまざまな公園、という回答が多くなっています。
- 最も魅力を感じるのは、「手稲山や藻岩山などの山なみ」が約2割と最も多くなっています。

札幌の自然については、多くの方が「山なみ」について魅力を感じている。

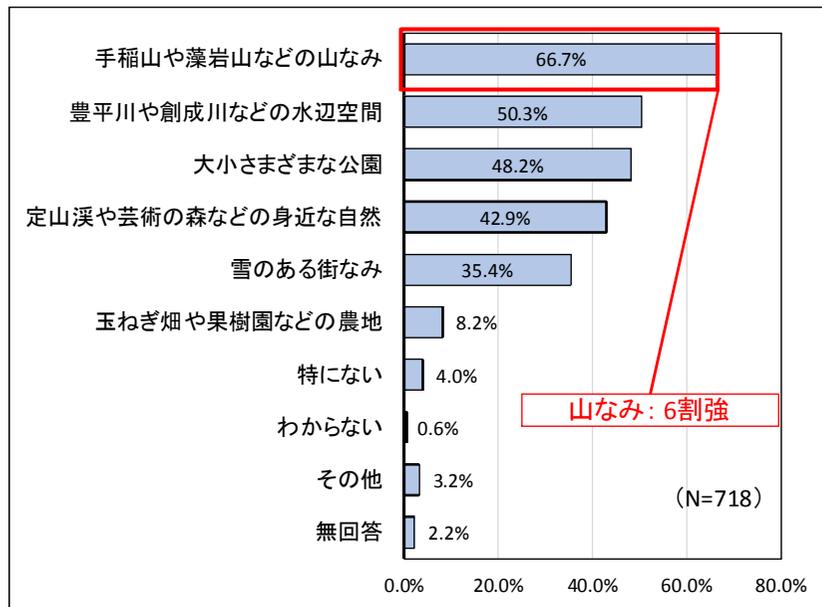


図4 魅力を感じるもの(3つまで)

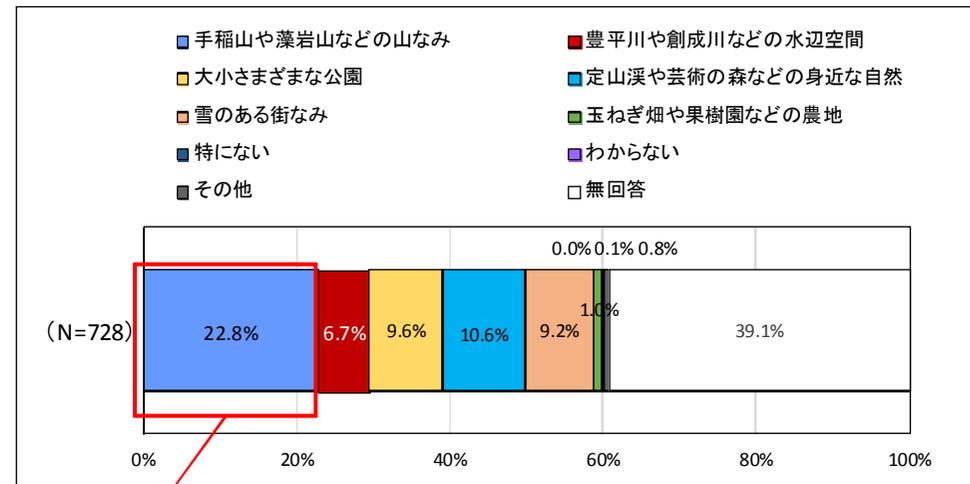


図5 最も魅力を感じるもの

3.調査結果(詳細)

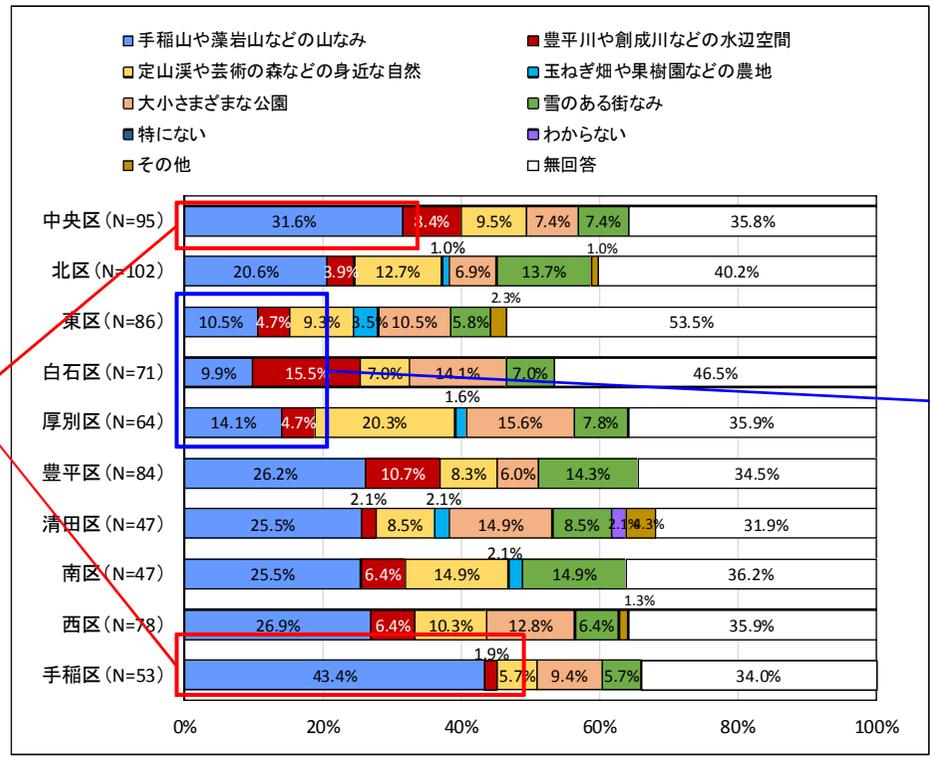
問2 札幌の景観について

Q2.札幌の自然やその他自然以外の魅力について、特に魅力を感じるものをお答えください(3つに○、そのうち最も魅力を感じるものに◎)。

(1)自然の魅力

- ・居住区別にみると、**手稲区と中央区で「手稲山や藻岩山などの山なみ」に最も魅力を感じると回答した割合が多く**、一方で、**東区、白石区、厚別区では割合が少なくなっています**。

地域ごとの身近な自然に対して魅力を感じているなど、居住区別に特徴がみられる。



山なみに魅力を感じる割合が多い

山なみに魅力を感じる割合が少ない

図6 最も魅力を感じるもの(居住区別)

3.調査結果(詳細)

問2 札幌の景観について

Q2.札幌の自然やその他自然以外の魅力について、特に魅力を感じるものをお答えください(3つに○、そのうち最も魅力を感じるものに◎)。

(2) 自然以外の魅力

- 札幌の自然以外の魅力については、「**碁盤の目のように整った街並み**」が**5割弱と最も多く**、次いで、「お祭り、イベント」、「夜景やイルミネーション」という回答が多くなっています。
- 最も魅力を感じるのは、「**碁盤の目のように整った街並み**」、「**お祭り、イベント**」が**約13%と最も多くな**っています。

札幌の自然以外の魅力については、多くの方が「碁盤の目の街並み」が札幌の特徴であり、魅力的であると感じている。

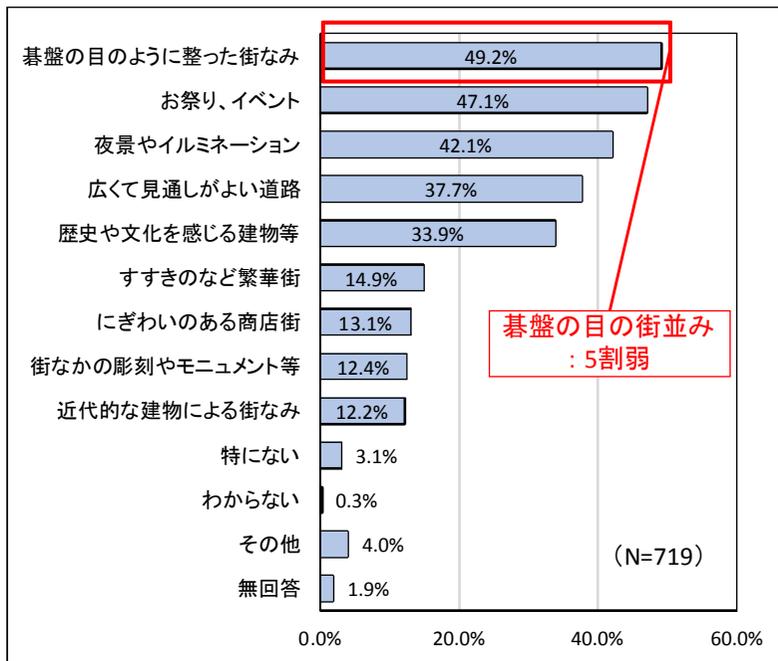


図7 魅力を感じるもの(3つまで)

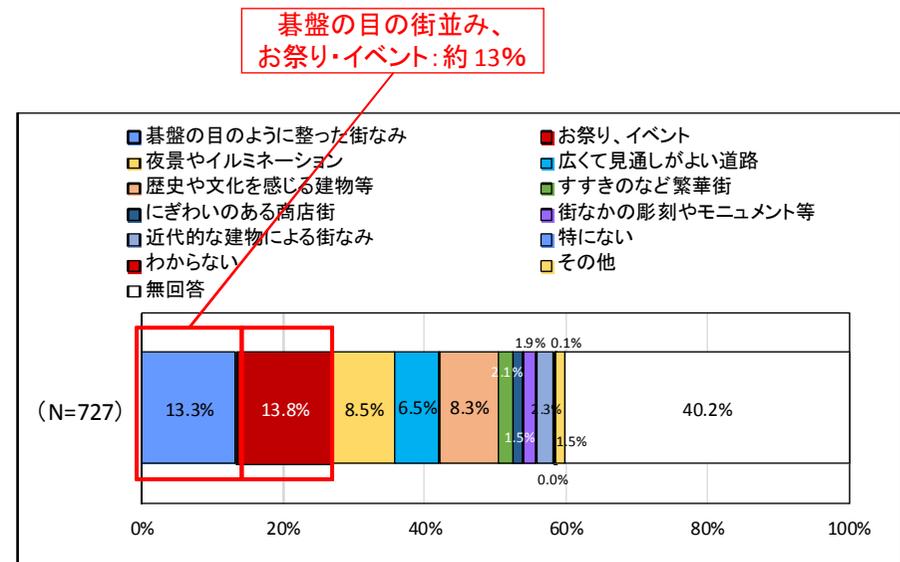


図8 最も魅力を感じるもの

3.調査結果(詳細)

問2 札幌の景観について

Q3.Q2のような魅力について今後どのようにになったらよいと思いますか(1つに〇)。

- 札幌の自然やその他自然以外の魅力について、約5割の市民が札幌の「今の魅力がさらに高まるとよい」と回答しており、次いで4割の方が「今の魅力が守られると良い」と回答しています。

札幌の自然やその他自然以外の魅力について、半数以上が「今の魅力がさらに高まるとよい」と考えており、「向上的な意識を持っている」割合は高い。

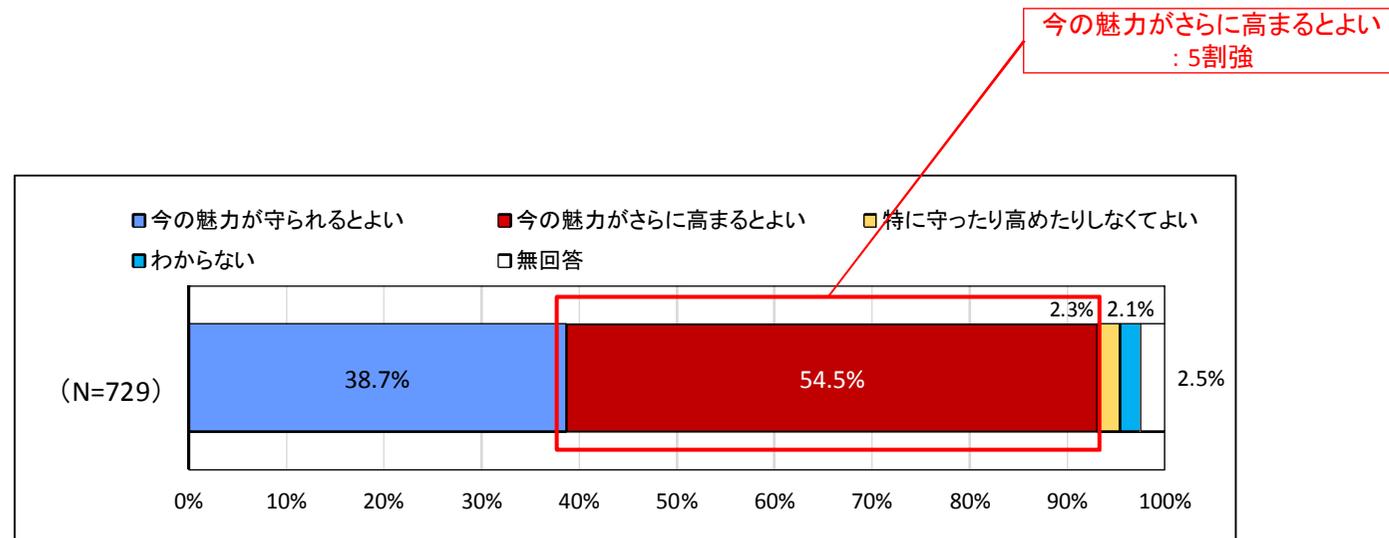


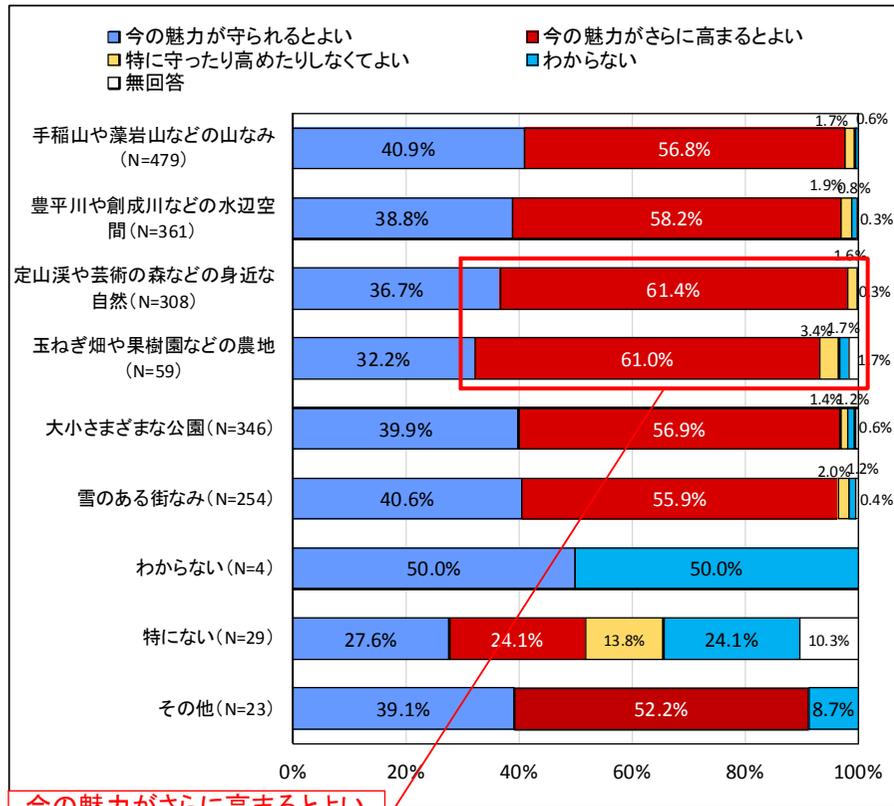
図9 札幌の魅力が今後どのようにになったらいいか

3.調査結果(詳細)

問2 札幌の景観について

Q3.Q2のような魅力について今後どのようにになったらよいと思いますか(1つに○)。

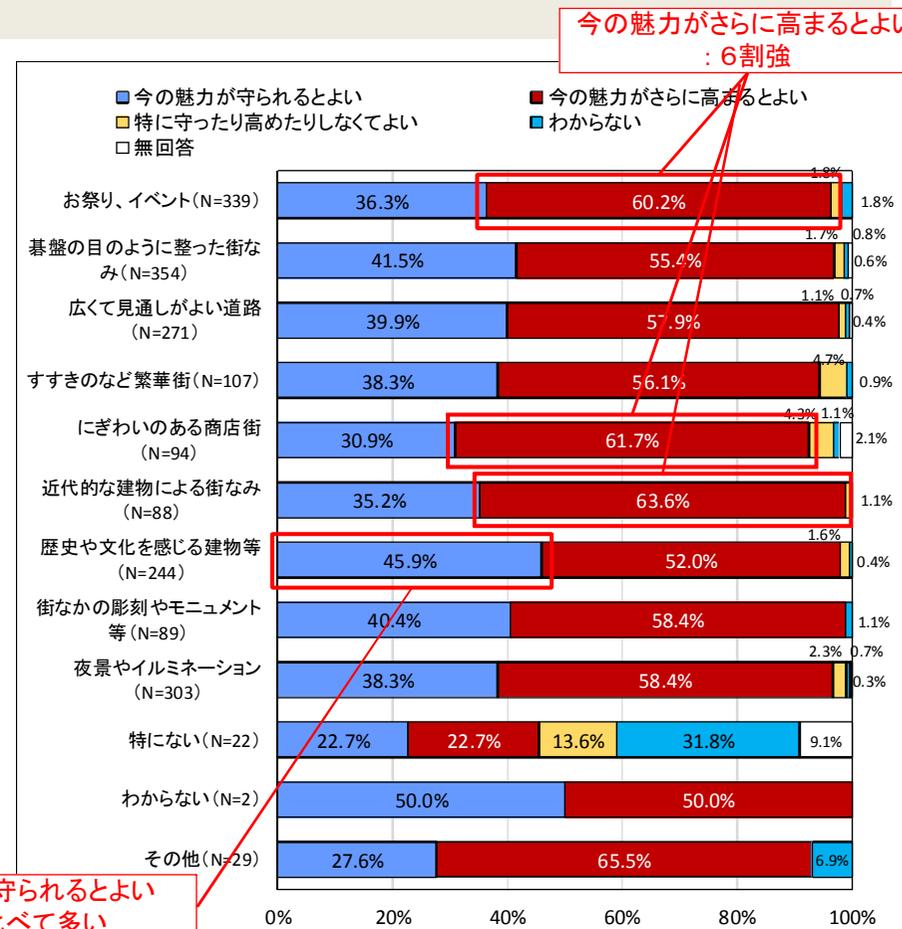
- ・ Q2とQ3の結果から、自然の魅力である「定山溪や芸術の森などの身近な自然」、「玉ねぎ畑や果樹園などの農地」については「今の魅力がさらに高まるとよい」という回答の割合が高くなっています。
- ・ 自然以外の魅力である「お祭り、イベント」、「にぎわいのある商店街」、「近代的な建物による街なみ」については「今の魅力がさらに高まるとよい」という回答の割合が高くなっており、「歴史や文化を感じる建物等」については「今の魅力が守られると良い」という回答の割合が他の項目に比べて高くなっています。



今の魅力がさらに高まるとよい : 6割強

今の魅力が守られるとよいが他と比べて多い

図10 自然の魅力(魅力を感じるもの別)



今の魅力がさらに高まるとよい : 6割強

図11 自然以外の魅力(魅力を感じるもの別)

3.調査結果(詳細)

問2 札幌の景観について

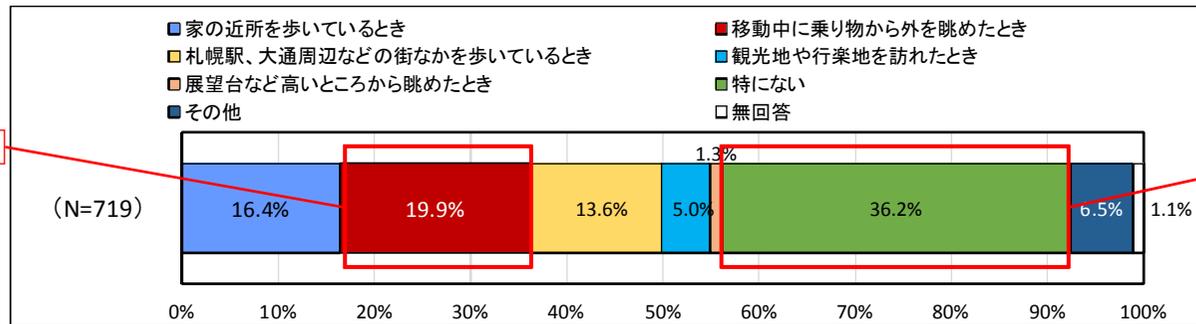
Q4.どんなときに札幌の景観に違和感を覚えたり、不満を感じることがありますか(1つに○)。

- 札幌の景観に違和感や不満を感じたことはないという回答が4割弱、移動中に乗り物から外を眺めたときに違和感や不満を感じるという回答が約2割となっています。その他の意見のうち「歩道に雪が積まれ車道を歩くとき」など雪に対する意見が比較的多くなっています。

Q5.Q4のように違和感を覚えたり、不満を感じるのは、どのようなものが視界に入ったときですか。

- 電柱や電線、建物、看板やネオンが視界に入ってきたときに違和感や不満を感じるという回答が多くなっていました。その他の意見のうち「ゴミが散乱しているゴミステーション」などゴミに対する意見が比較的多くなっています。

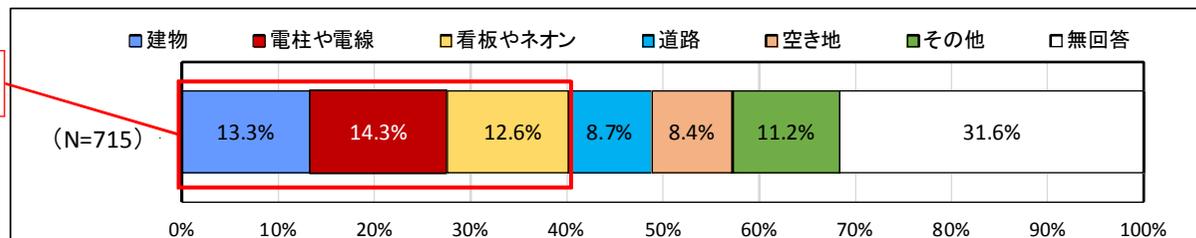
違和感や不満を感じるものは「電柱・電線、建物、看板やネオン」という割合が多いが、札幌の景観で違和感や不満を感じたことはないという回答が最も多い。



乗り物から: 2割弱

違和感や不満を感じたことはない: 4割弱

図12 どんなときに違和感や不満を感じるか



建物、電柱・電線、看板・ネオンが多い

図13 どんなものに違和感や不満を感じるか

3.調査結果(詳細)

問2 札幌の景観について

Q4.どんなときに札幌の景観に違和感を覚えたり、不満を感じることがありますか(1つに○)。

- ・ Q4とQ5の結果から、家の近所を歩いているときは「電柱や電線」「道路」、移動中に乗り物から外を眺めたときは「建物」「電柱・電線」「看板・ネオン」、札幌駅や大通周辺などの街なかを歩いているときは「建物」「看板やネオン」、観光地や行楽地を訪れたときは「看板やネオン」により違和感や不満を感じる割合が多くなっています。

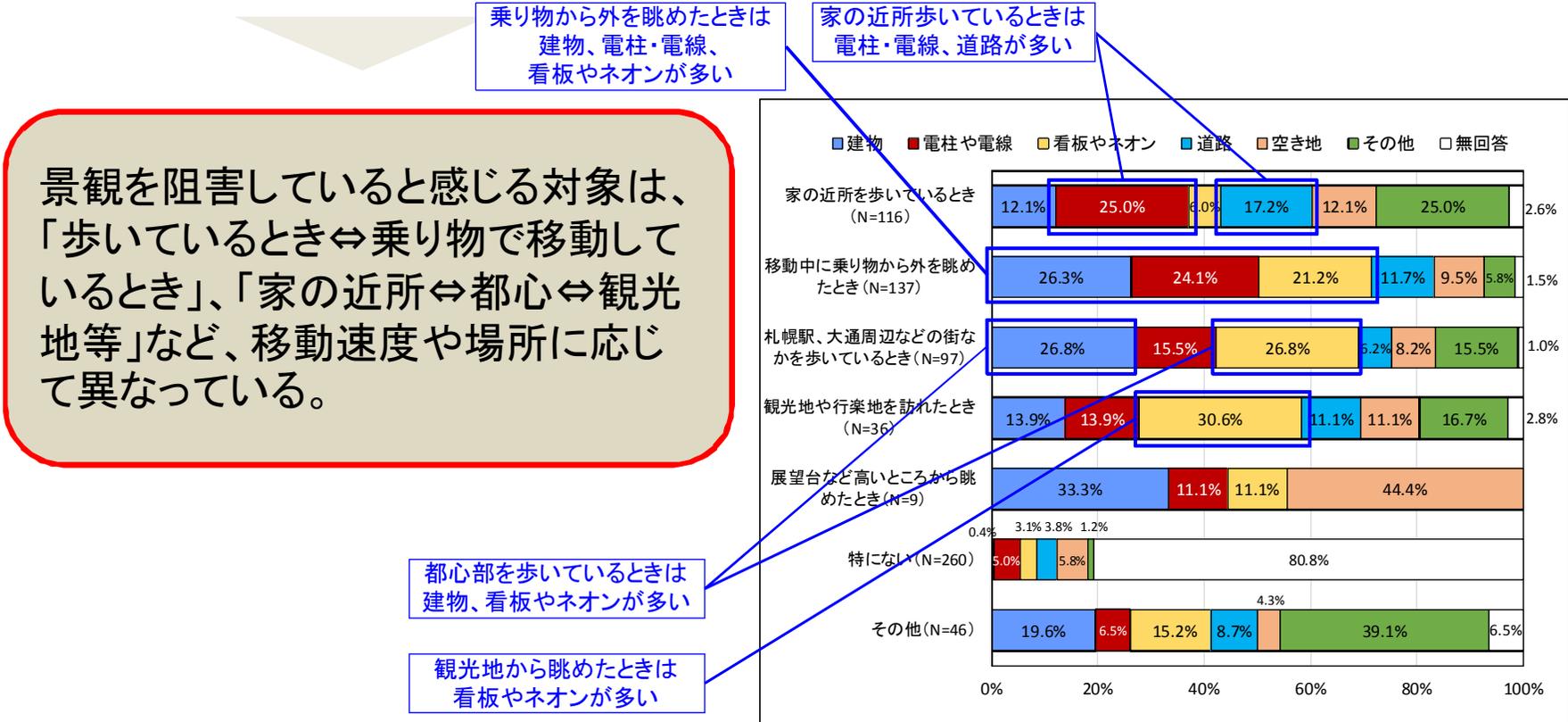


図14 どんなときにどんなものに違和感や不満を感じるか

3.調査結果(詳細)

問3 お住まいの地域の景観について

Q1.5～10年(居住年数が5年未満の方は住み始めた頃)と比べて、良くなったと思うところ、悪くなったと思うところはそれぞれのようなところですか。

(1)良くなったところ(3つに○)。

- ・ 5～10年前に比べて良くなったと思うところとして、「街なみが整った」、「公園がきれいになった」が約3割と多くなっています。次いで「歩いて楽しめる空間が増えた」、「街路樹や花壇が増えた」という回答が約2割となっています。
- ・ 居住区別にみると、「街なみが整った」という回答が清田区で約4割と多くっており、「歩いて楽しめる空間が増えた」という回答が中央区と清田区で2割強と多くなっています。また、「街路樹や花壇が増えた」という回答が南区で約3割と多くなっています。

良くなったと思うところとして「街なみが整った」、「公園がきれいになった」という割合が多い。

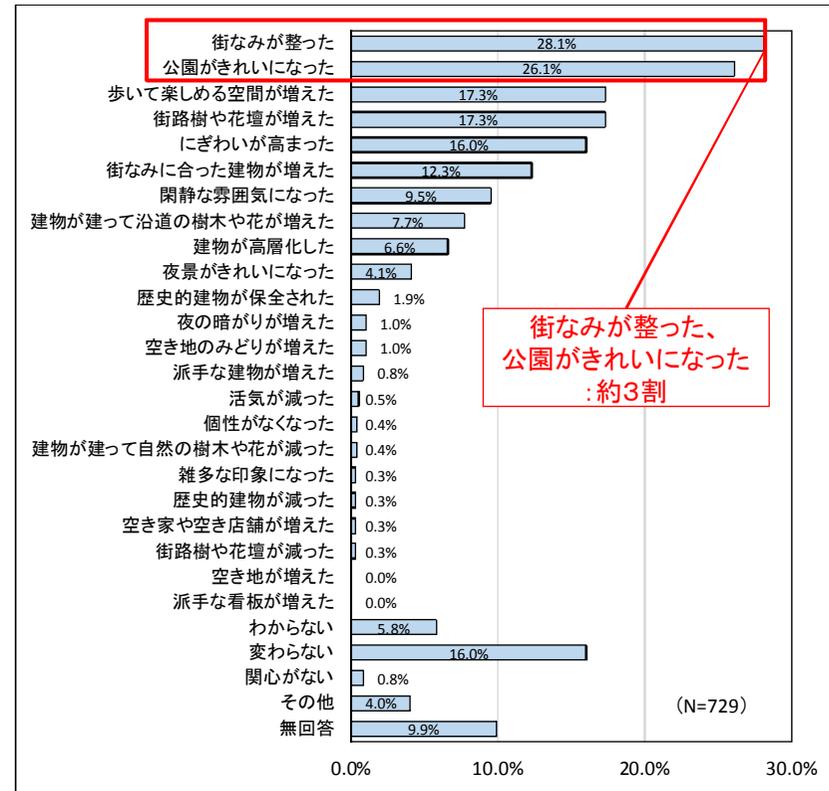


図15 5～10年前と比べて良くなったと思うところ

3.調査結果(詳細)

問3 お住まいの地域の景観について

Q1.5～10年(居住年数が5年未満の方は住み始めた頃)と比べて、良くなったと思うところ、悪くなったと思うところはそれぞれのようなところですか。
(2)悪くなったところ(3つに○)。

- ・ 5～10年前に比べて悪くなったと思うところとして、「空き家や空き店舗が増えた」が約3割で最も多くなっており、次いで「活気が減った」が約2割となっています。
- ・ 居住区別にみると、「活気が減った」が南区で約4割と多くっており、「空き家や空き店舗が増えた」が南区で4割強、白石区で3割強と多くなっています。

悪くなったと思うところとして「空き家や空き店舗が増えた」という割合が多い。

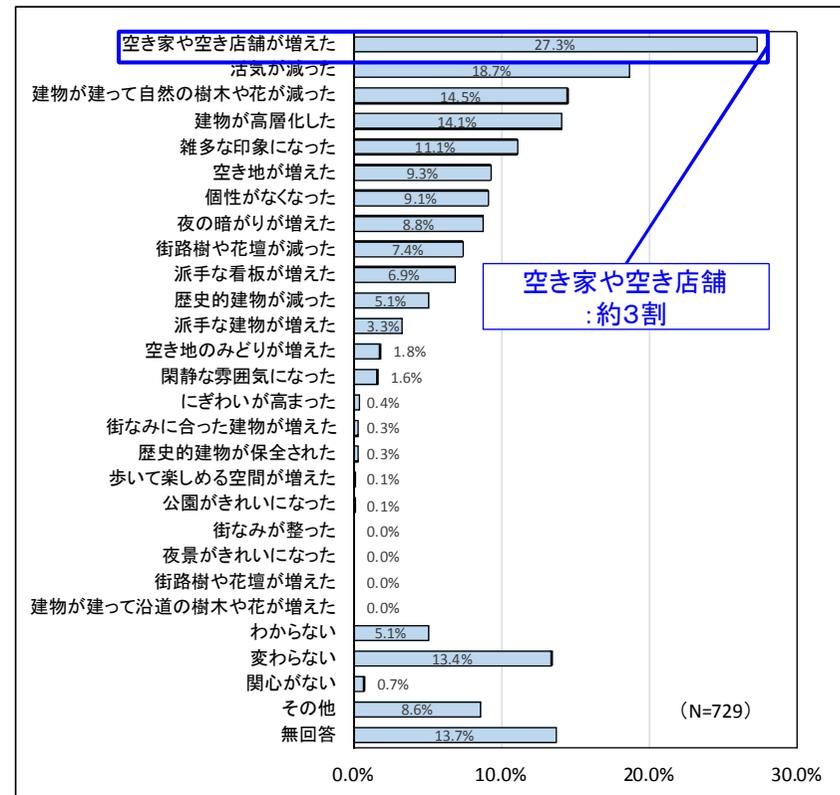


図16 5～10年前と比べて悪くなったと思うところ

3.調査結果(詳細)

問3 お住まいの地域の景観について

Q2.お住まいの地域の景観に関して、現在行っている取組をお答えください(あてはまるものすべてに○)。

- ・「**自宅の周りを掃除する**」が約4割で最も多く、次いで、「**自宅の庭やベランダなどに植木や花を飾る**」とが約3割、「花植えやゴミ拾いなどの地域の活動を行う」、「まちあるきや写真を撮る等、景観に親しむ」が約2割となっています。

現在行っている取組は「自宅の周りを掃除する」など、敷地内で行う取組が多い。

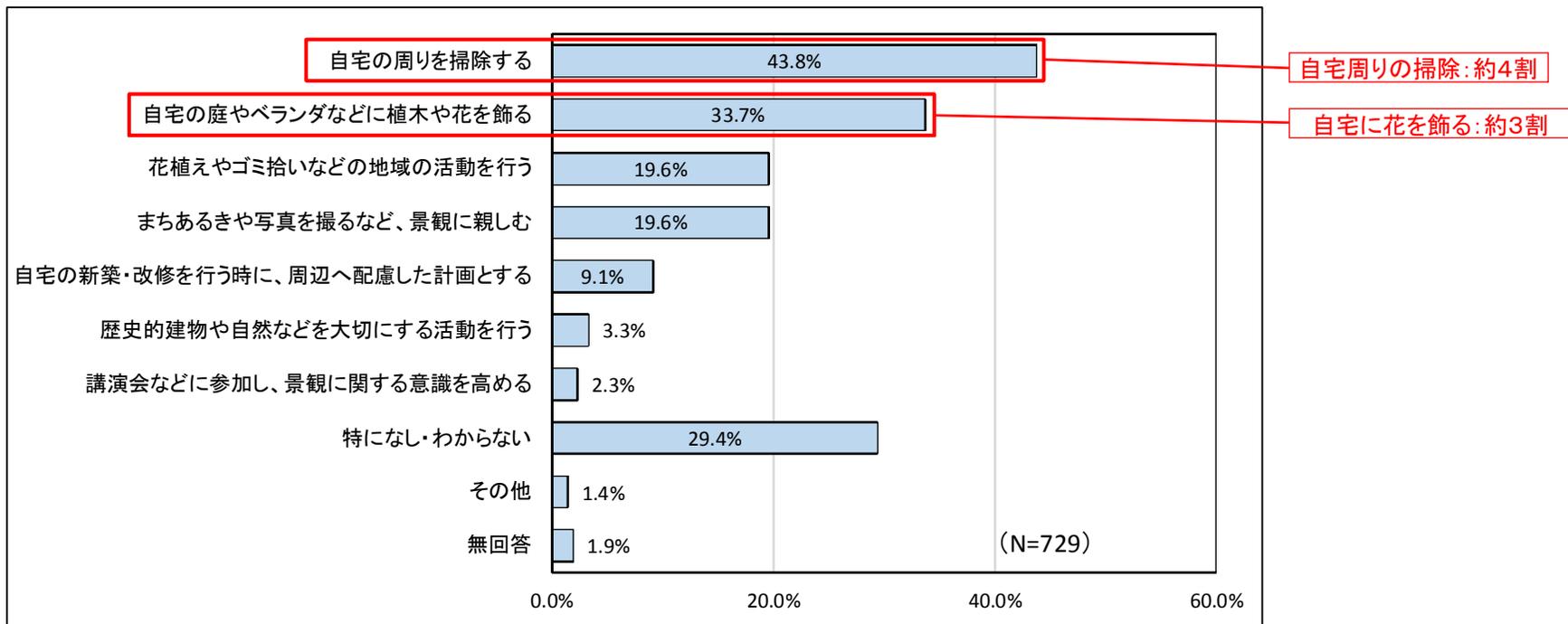


図17 現在行っている取組

3.調査結果(詳細)

問3 お住まいの地域の景観について

Q2.お住まいの地域の景観に関して、現在行っている取組をお答えください(あてはまるものすべてに○)。

- ・年代別にみると、**60歳代以上で「自宅の周りを掃除する」、「自宅の庭やベランダなどに植木や花を飾る、花植えやゴミ拾いなど地域の活動を行う」が多くなっており、一方20歳代で「まちあるきや写真を撮るなど、景観に親しむ」が多くなっています。**

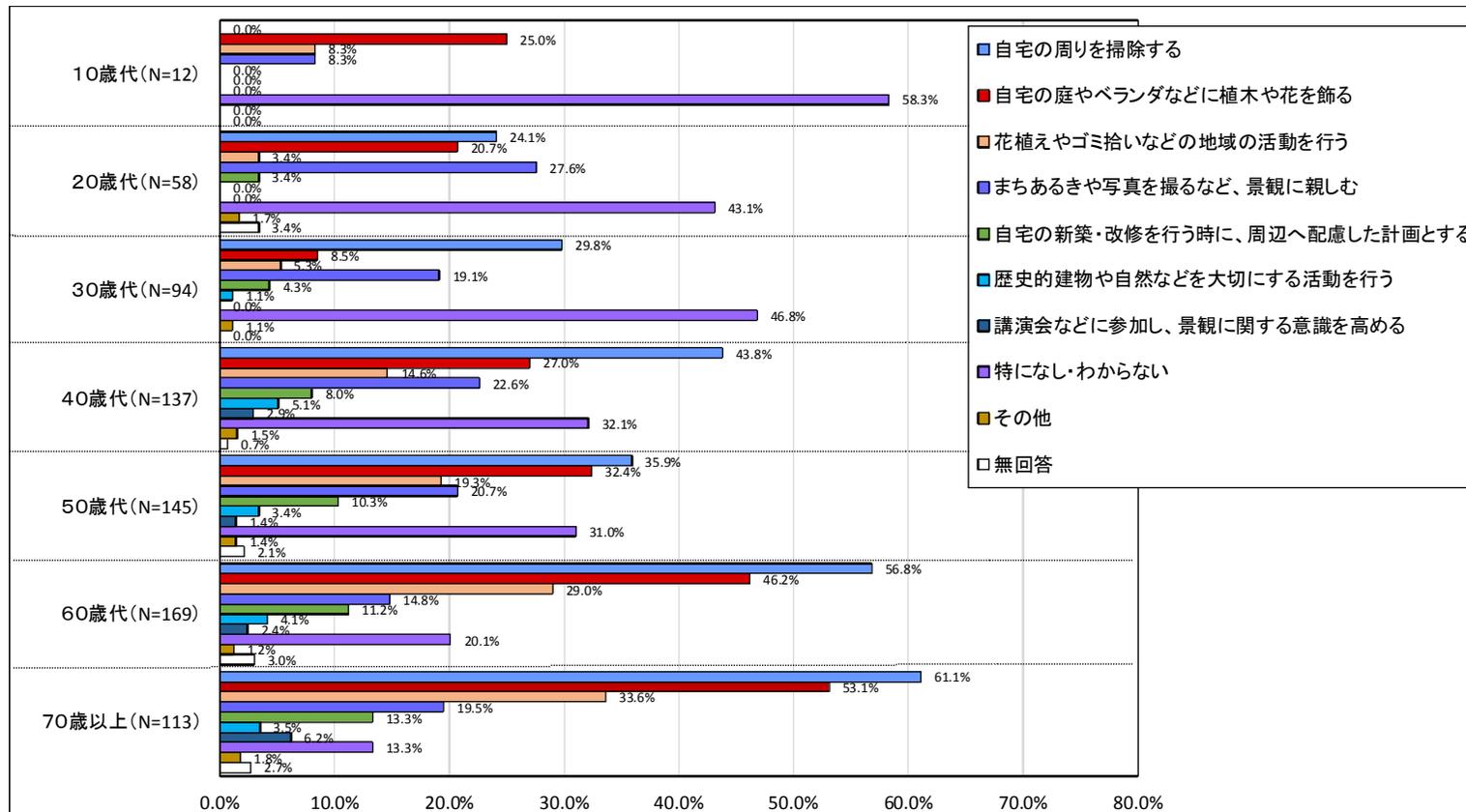


図18 現在行っている取組(年代別)

3.調査結果(詳細)

問3 お住まいの地域の景観について

Q2.お住まいの地域の景観に関して、現在行っている取組をお答えください(あてはまるものすべてに○)。

- ・居住区別にみると、他の区に比べて清田区、手稲区、南区で「自宅の周りを掃除する」が多くなっており、清田区と手稲区で「自宅の庭やベランダなどに植木や花を飾る」が多くなっています。また、中央区では「まちあるきや写真を撮る等、景観に親しむ」が多くなっています。

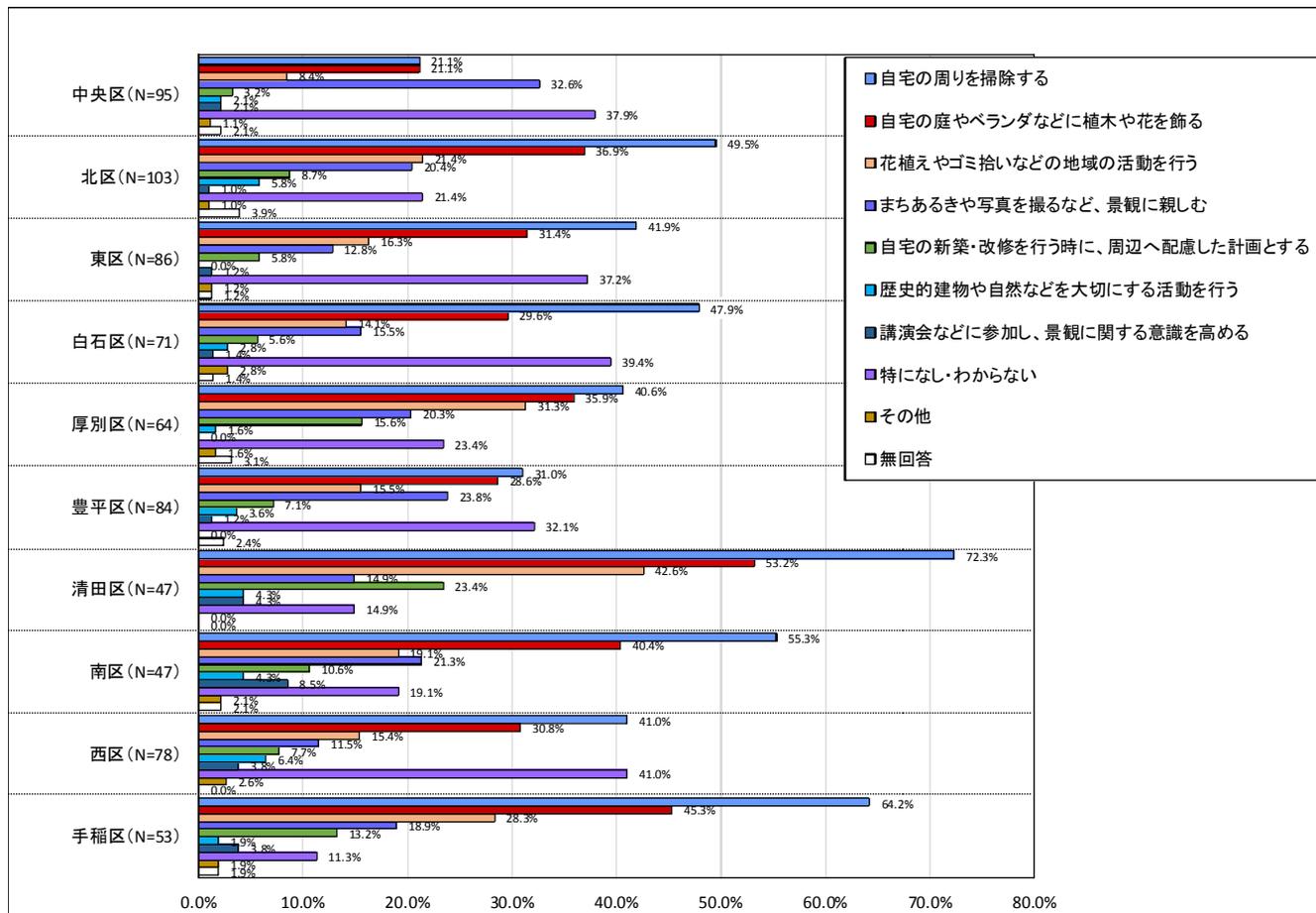


図19 現在行っている取組(居住区別)

3.調査結果(詳細)

問3 お住まいの地域の景観について

Q2.お住まいの地域の景観に関して、現在行っている取組をお答えください(あてはまるものすべてに○)。

・居住地周辺の建物立地状況別にみると、「戸建住宅が多い」地域で、景観に関する取組を行っているという回答が多い傾向がみられます。また、「マンション・アパートが多い」地域では景観に関する取組を行っているという回答が少ないものの、「まちあるきや写真を撮る等、景観に親しむ」という回答が多くなります。

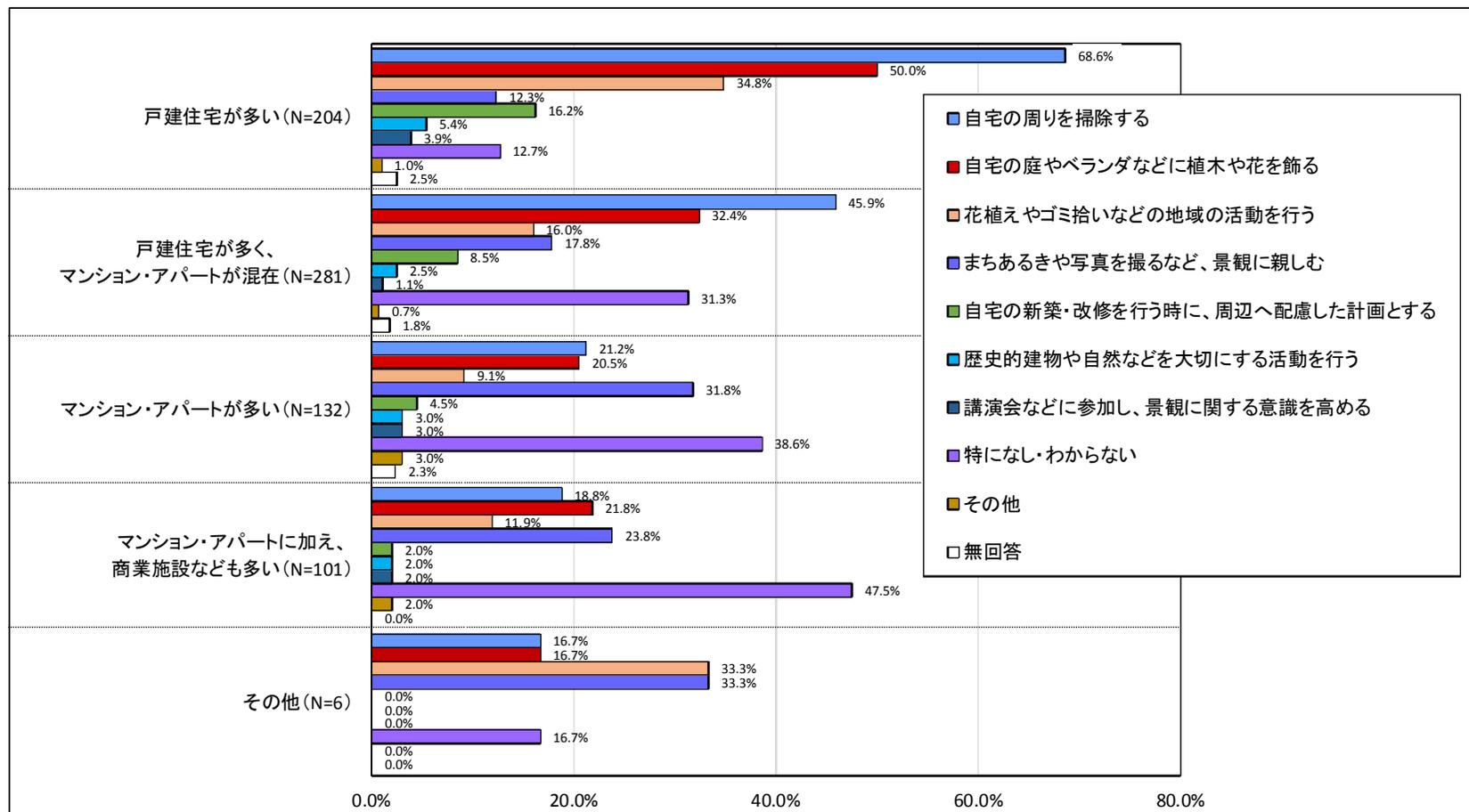


図20 現在行っている取組(建物立地状況別)

3.調査結果(詳細)

問3 お住まいの地域の景観について

Q2.お住まいの地域の景観に関して、今後行ってみたい取組をお答えください(あてはまるものすべてに○)。

- ・今後行ってみたい取組としては、「花植えやゴミ拾いなどの地域の活動を行う」が約2割と最も多くなっており、次いで「自宅の庭やベランダなどに植木や花を飾る」、「自宅の周りを掃除する」、「まちあるきや写真を撮る等」、「景観に親しむ」が多くなっています。

現在行っている取組と比べて、今後行いたい取組は、敷地外での取組の割合が増加している。

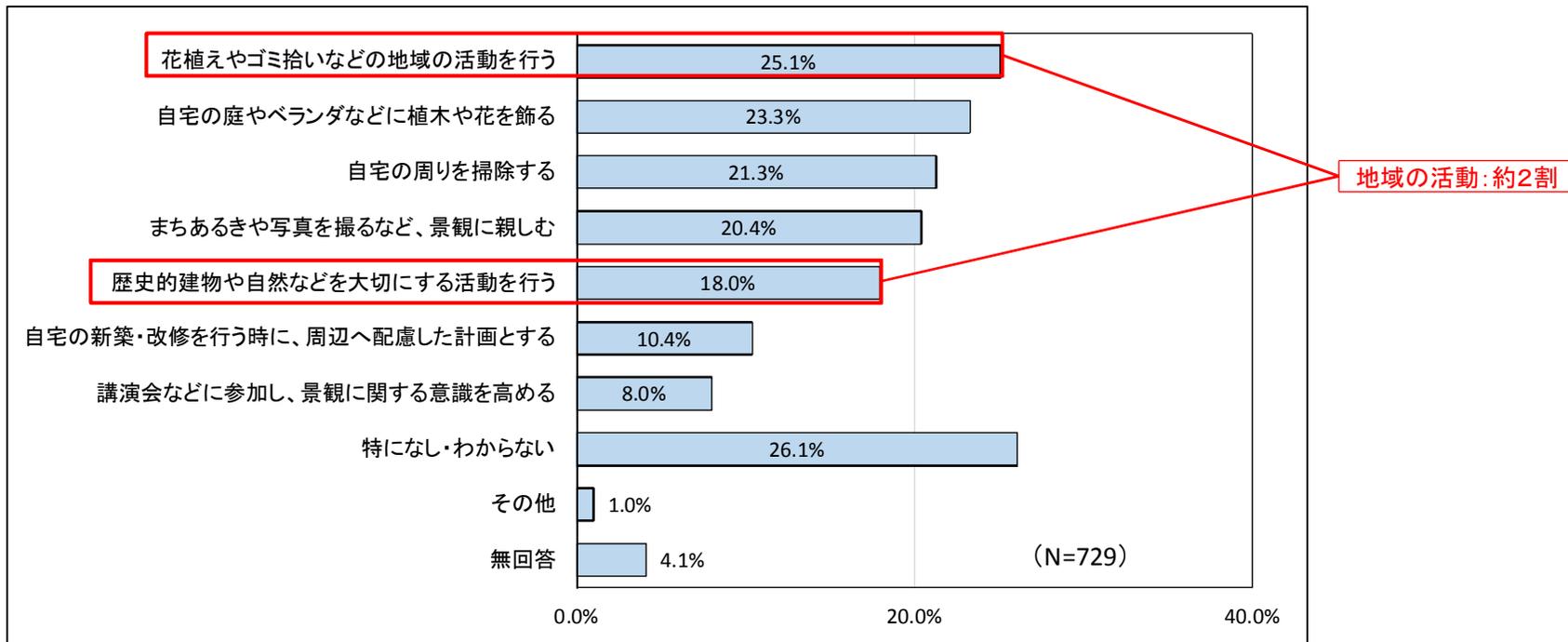


図21 今後行ってみたい取組

3.調査結果(詳細)

問3 お住まいの地域の景観について

Q4.Q3のような取組を始めるとしたら、どのようなきっかけがあると良いですか(あてはまるものすべてに○)。

- ・取組を始めるきっかけとしては、「時間に余裕があったら取り組む」が5割超と最も多く、次いで「友人や町内会から呼ばれたら取り組む」が約3割となっています。
- ・年齢別でみると、70歳以上で「友人や町内会から呼ばれたら取り組む」という回答が多くなっており、40~50歳代で、「時間に余裕があったら取り組む」という回答が多くなっていました。また、10~30歳代の若い世代で「謝礼や報酬をもらえたら取り組む」という回答が多くなっていました。

70歳代以上は「友人等から呼ばれたら取り組む」、10~30歳代は「謝礼等がもらえたら取り組む」のように、年代別に特徴がみられる。

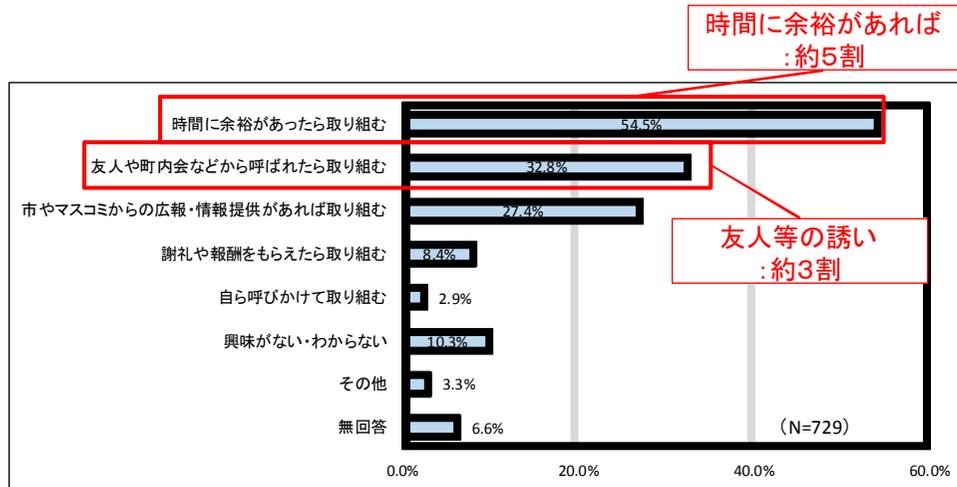


図22 取組を始めるとしたらどんなきっかけがあると良いか

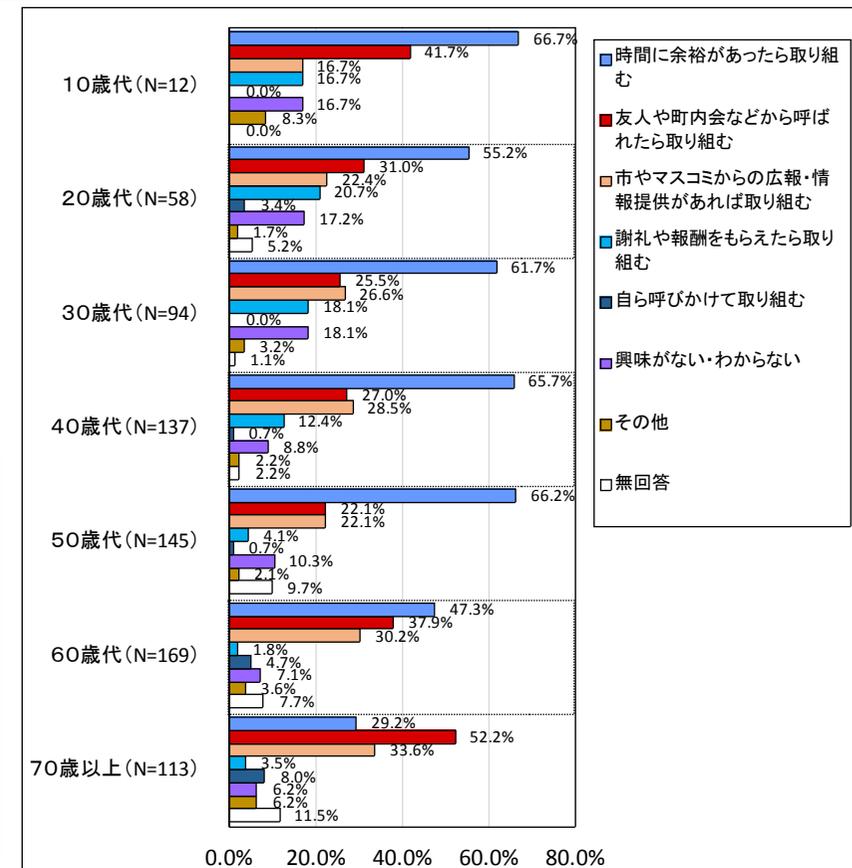


図23 取組を始めるとしたらどんなきっかけがあると良いか(年代別)

3.調査結果(詳細)

問4 都心の景観について

Q1.どのような印象をお持ちですか(1つに○)。

- ・「どちらかという魅力があると感じる」割合が約5割で最も多く、次いで「十分魅力があると感じる」となっており、**魅力がある割合は7割を超えています。**
- ・年齢別にみると、**20歳代**で「どちらかという魅力があると感じる」割合が約4割で最も多く、次いで「十分魅力があると感じる」となっており、**魅力がある割合は8割を超えています。**

都心に「魅力があると感じている」割合は高く、特に20歳代の割合が高い。

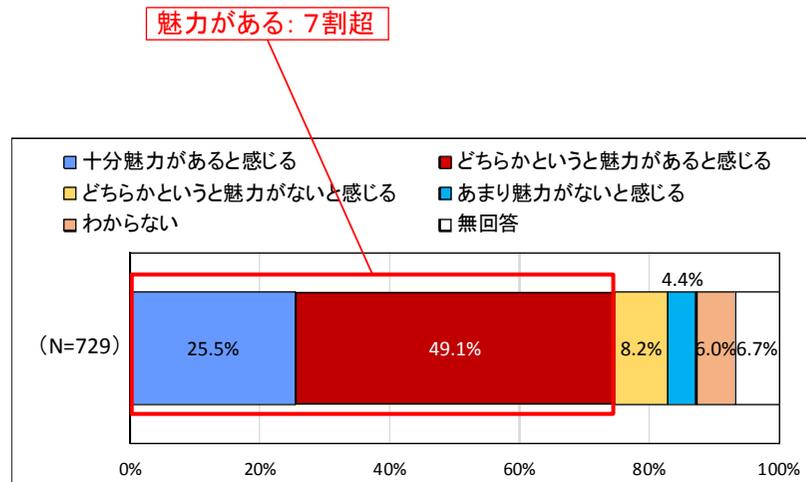


図24 都心の印象

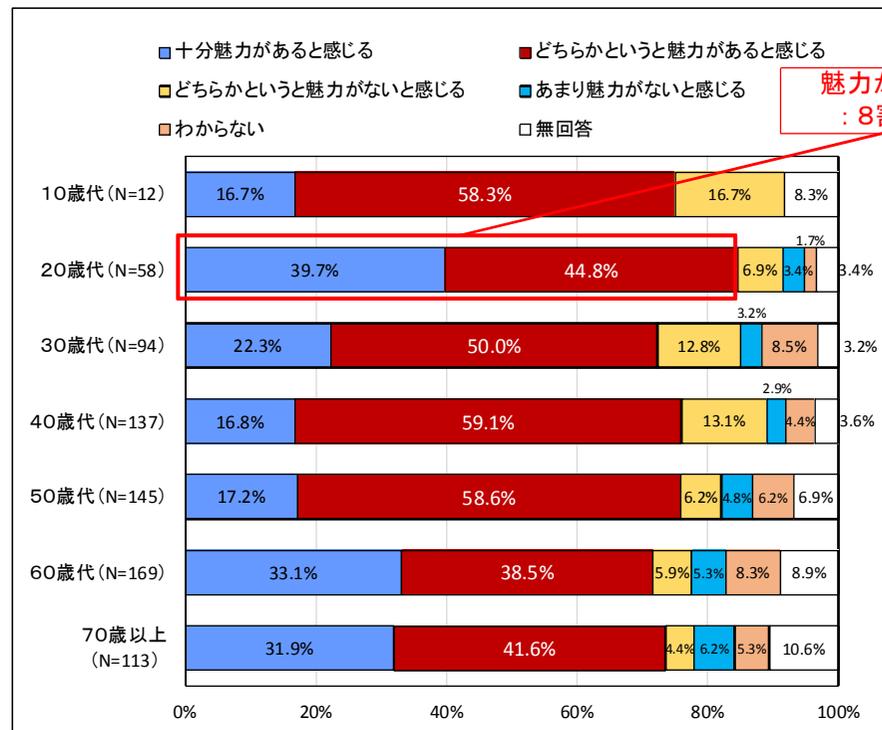


図25 都心の印象(年代別)

3.調査結果(詳細)

問4 都心の景観について

Q1.どのような印象をお持ちですか(1つに○)。

- ・都心を訪れる頻度別でみると、週5回以上都心を訪れる方より、週に1～2回や週に3～4回程度訪れるの方が都心の景観に魅力があると感じている傾向があります。

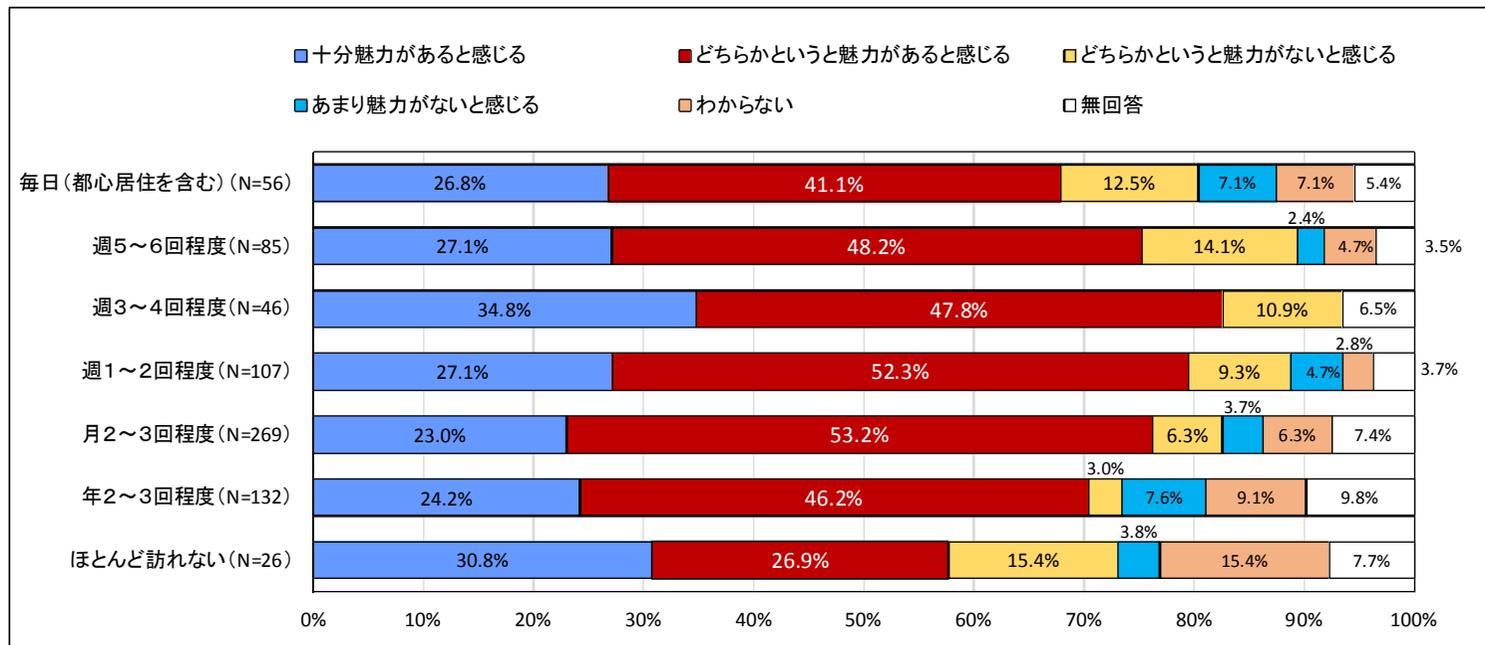


図26 都心の印象(都心を訪れる頻度別)

3.調査結果(詳細)

問4 都心の景観について

Q2. 5～10年(札幌の居住年数が5年未満の方は住み始めた頃)と比べて、どのように変わったと感じますか。

- (1) 良くなったと思うところ(3つに○)
- (2) 悪くなったと思うところ(3つに○)

- ・ **良くなったところは「歩いて楽しめる空間が増えた」が約5割と最も多くなっている一方、悪くなったところは特に突出している回答はみられませんでした。**

良くなったところとして「歩いて楽しめる空間が増えた」という割合が多い。

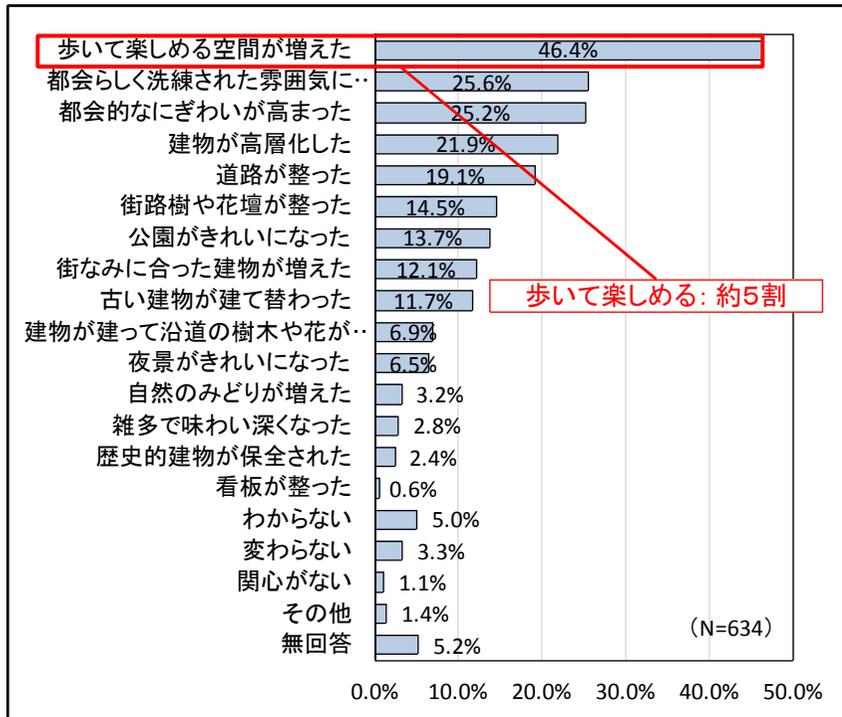


図27 5～10年前と比べて良くなったと思うところ

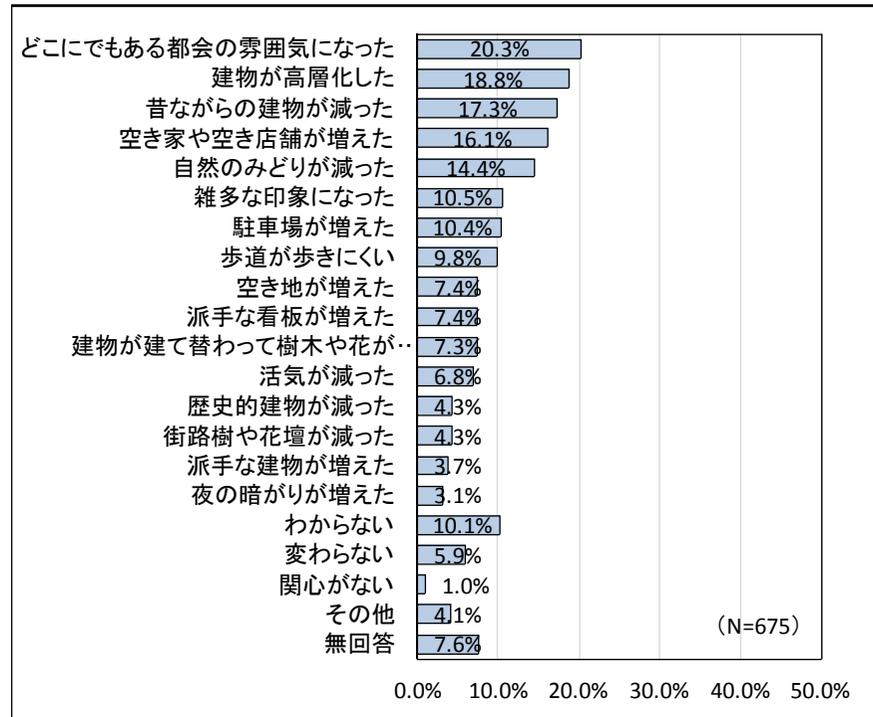


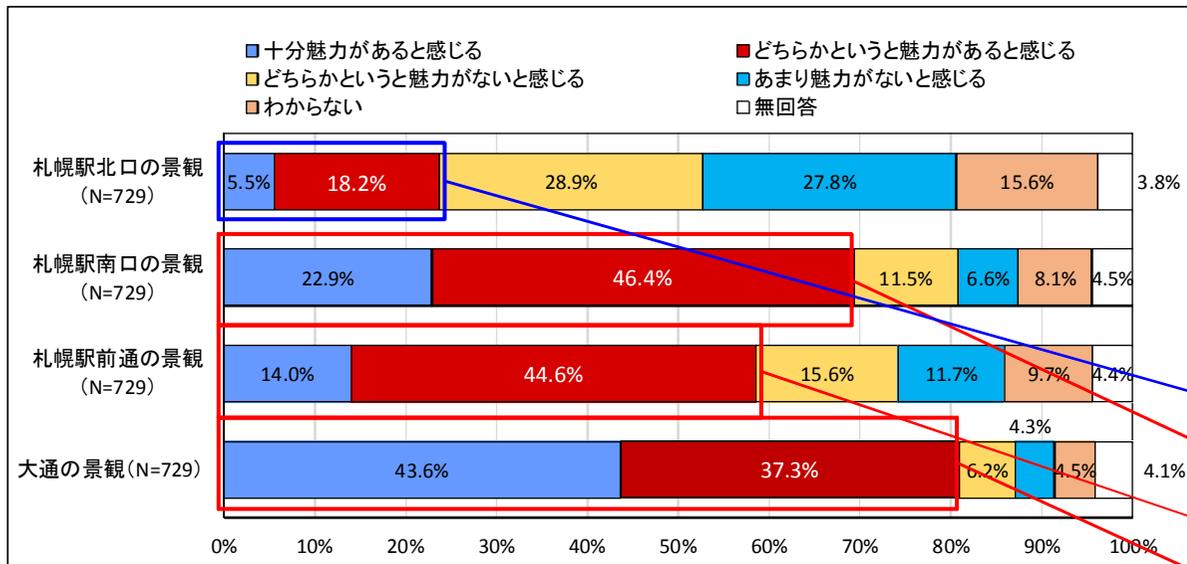
図28 5～10年前と比べて悪くなったと思うところ

3.調査結果(詳細)

問4 都心の景観について

Q3. 以下の4つの景観計画重点区域の景観について、どのような印象をお持ちですか(それぞれ1つに○)。
 (1)札幌駅北口の景観、(2)札幌駅南口の景観、(3)札幌駅前通の景観、(4)大通の景観

- 札幌駅北口の景観は、「十分魅力があると感じる」割合が5.5%と最も低く、「どちらかというとも魅力があると感じる」とあわせても、**魅力がある割合は約2割で少なくなっています。**
- 札幌駅南口は、「どちらかというとも魅力があると感じる」割合が約5割と最も多く、「十分魅力がある」とあわせると、**魅力がある割合は6割を超えています。**
- 札幌駅前通は「どちらかというとも魅力があると感じる」割合が約4割と最も多く、「十分魅力がある」とあわせると、**魅力がある割合は5割を超えています。**
- 大通は「十分魅力がある」と割合が約4割と最も多く、「どちらかというとも魅力があると感じる」とあわせると、**魅力がある割合は8割を超えています。**



札幌駅南口、札幌駅前通、大通の景観は、多くの方が魅力があると感じている。
 札幌駅北口は、魅力があると感じている方は少ない。

魅力がある: 約2割

魅力がある: 6割超

魅力がある: 5割超

魅力がある: 8割超

図29 景観重点区域の景観の印象

3.調査結果(詳細)

問4 都心の景観について

Q3. 以下の4つの景観計画重点区域の景観について、どのような印象をお持ちですか(それぞれ1つに○、理由を自由回答)。
 (1)札幌駅北口の景観、(2)札幌駅南口の景観、(3)札幌駅前通の景観、(4)大通の景観

- 札幌駅北口、札幌駅南口、札幌駅前通は、平成17年度のアンケートと比べると、**魅力があると感じる割合は増加**しています。
- 大通は**魅力があると感じる割合は4地区の中で、最も高くなっています**が、平成17年度のアンケートと比べると、**割合はわずかに減少**しています。

【主な理由】

(1) 札幌駅北口の景観

△整った印象はあるが、特徴がない。

△ただ新しいビルが建っているという印象。

(2) 札幌駅南口の景観

◎札幌の玄関口といった感じがするし、活気ある雰囲気がある。

○イベント等の開催できる広場は良いが、もっと緑(樹木)があっても良いのではないかと感じる。

(3) 札幌駅前通の景観

◎地下と地上、両方歩きを楽しめる。建物もきれいで良い。

△整備の行き届いたオフィス街にしか見えない

(4) 大通地区の景観

◎公園の自然を中心に街並みがあるのがよい。

◎緑の豊かさ、憩いの場、イベントスペースとして定着している。

△札幌駅に比べて活気がないように感じる。

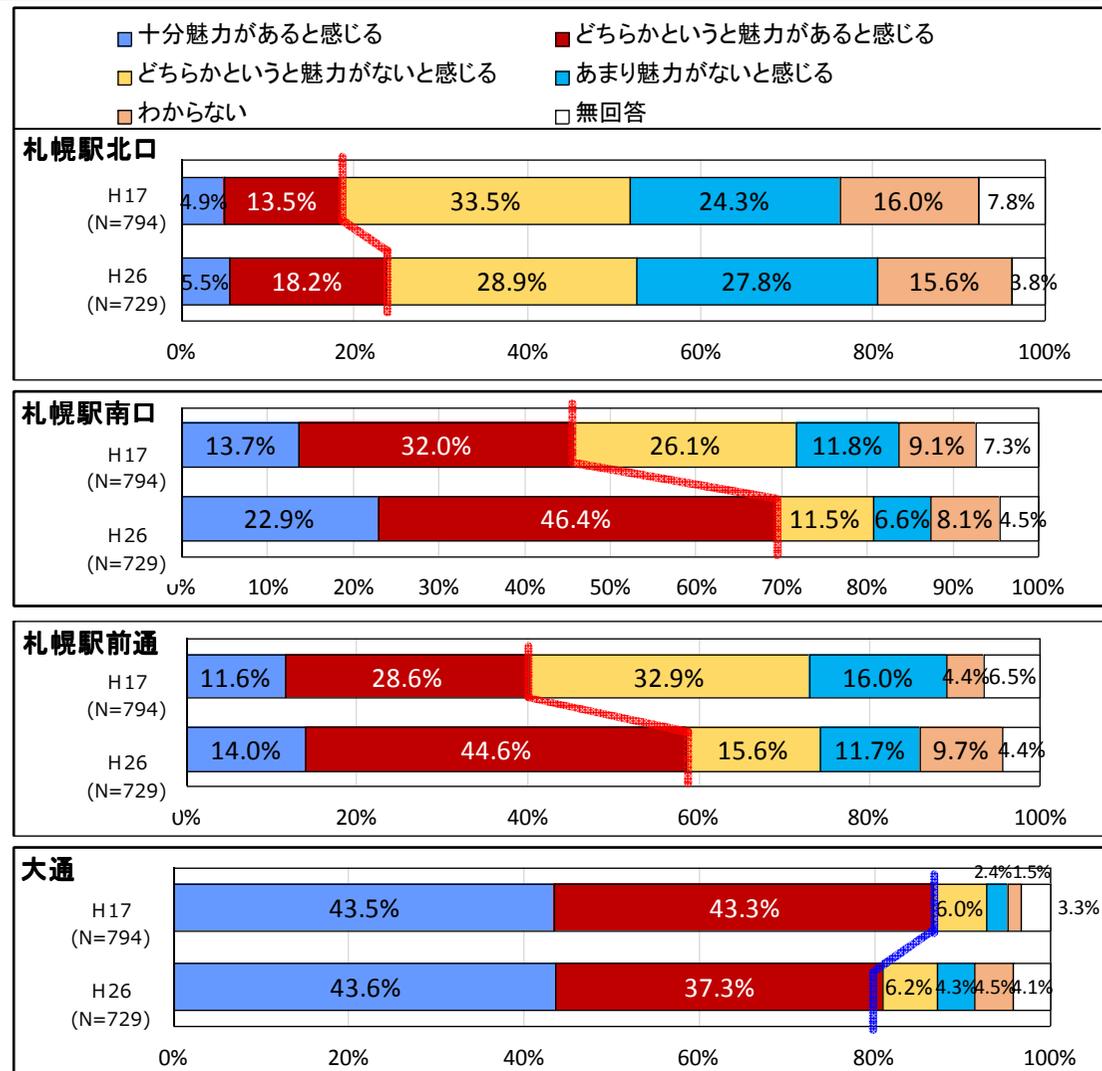


図30 景観重点区域の景観の印象 (H17調査結果との比較)

札幌市都市景観基本計画及び札幌市景観計画の見直しの検討に係る

事業者アンケート調査結果

1.調査の概要

(1)調査の対象

札幌市の景観施策に関連のある事業者2,088名（郵送：1,024名、メール：1,064名）を調査の対象としました。

(2)調査の方法

- ・札幌市へ法令に基づく届出を行った届出者・設計者に、郵送で調査票を配布・回収しました。
- ・札幌市の景観施策に関連のある事業者団体の会員に、メールまたは郵送で調査票を配布・回収しました。

(3)調査の期間

平成27年3月3日（火）～平成27年3月17日（火） ※集計は、平成27年3月18日（水）回収分までのものについて行いました。

(4)回収結果

373名（郵送：291名、メール82名）の方からご回答いただき、回収率は17.9%（郵送：28.4%、メール：7.7%）でした。

(5)設問内容

問1 回答者の属性

- ・業種、本店・本社所在地、従業員数、札幌での事業・営業状況

問2 景観への意識と取組について

- ・景観を意識する機会・理由
- ・現在行っている景観の取組、今後行ってみたい景観の取組
- ・景観まちづくりの取組を進めるうえで必要な支援

問3 景観に関する届出制度について ※設計業務に携わる方のみ回答

- ・届出制度の周知状況
- ・届出準備の状況、負担を感じる準備作業
- ・景観に配慮した建物の計画・設計をする際に重視すること

問4 札幌の景観施策について（自由回答）

【景観への意識と取組について】

- ・ 事業者の大半が景観を意識しているが、「常に」景観を意識している割合は高くない。
- ・ 景観を意識する理由としては「社会貢献であると考える」が半数を超えており、「間接的利益・直接的利益につながる」と考えるよりも多くなっている。

【札幌市における景観に関する届出制度について】

- ・ 札幌市における景観に関する届出制度は、「札幌市景観計画」策定から7年が経過し、設計業務に携わる方にはおおむね周知されている。

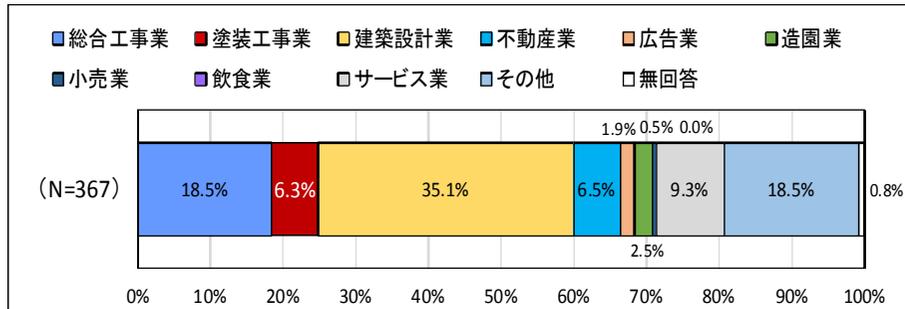
3.調査結果(詳細)

問1 回答者属性

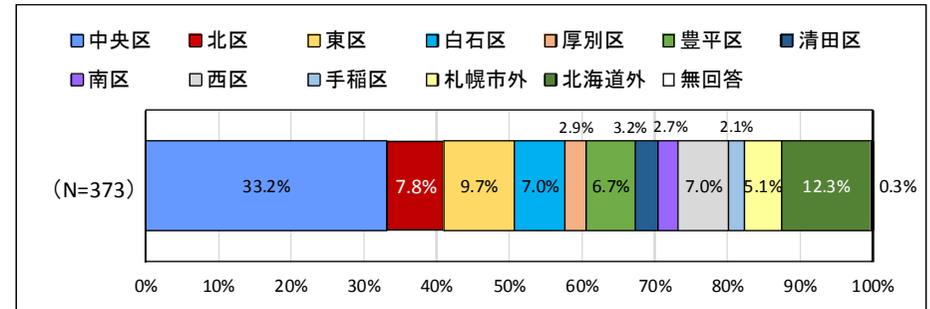
Q1.貴事業者についてお聞きします(あてはまるものに○)

- ・回答者は、工事業が約2割、建築設計業が約3割となっています。
- ・本店・本社所在地は、中央区が約3割と最も多く、北海道外は約1割となっています。
- ・従業員数は、30人以下が約6割弱と多く、その中でも1～4人が最も多くなっています。
- ・札幌に事業所・営業所のある方が約8割を占めています。
- ・札幌での事業・営業年数は30年以上が約6割と最も多くなっています。

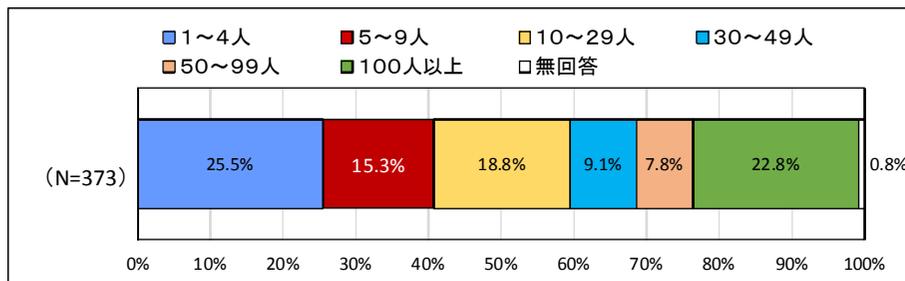
(1) 業種



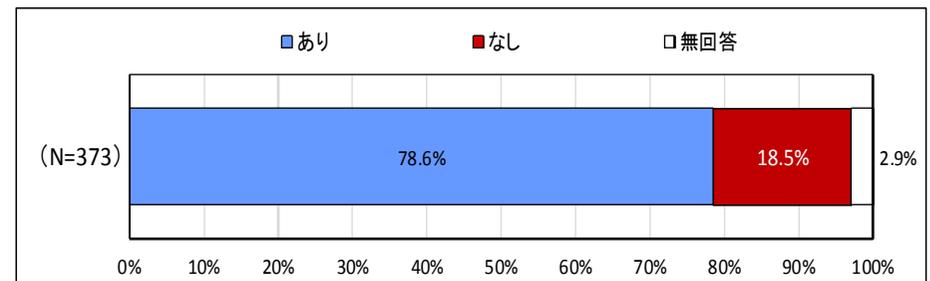
(2) 本店・本社所在地



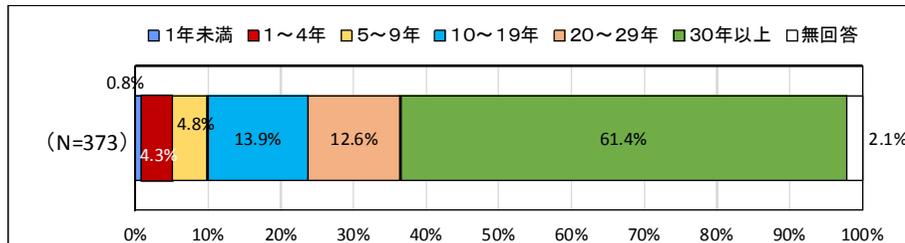
(3) 従業員数(パート、アルバイト含む)



(4) 札幌での事業所・営業所の有無



(5) 札幌での事業・営業年数



3.調査結果(詳細)

問2 景観への意識と取組について

Q1.日々の事業活動において、景観(街並みや自然等)をどのくらい意識する機会がありますか。(1つに○)

- ・「常に、意識して活動を行っている」が3割強、次いで、「たまに、意識する機会がある」、「たびたび、意識する機会がある」となっており、「**景観を意識することがある**」割合は9割を超えています。
- ・業種別では、特に**建築設計業**で「常に、意識して活動を行っている」割合が約4割と高くなっています。

事業者の大半が景観を意識しているが、「常に」景観を意識している割合は高くない。
他の業種に比べて建築設計業では「常に」景観を意識している割合が高いが、半数を超えていない。

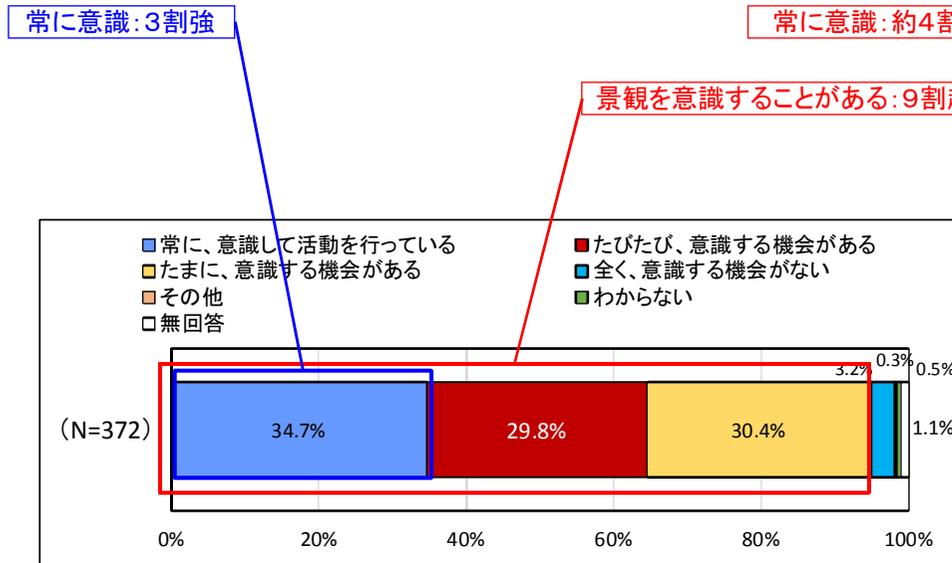


図1 意識する機会

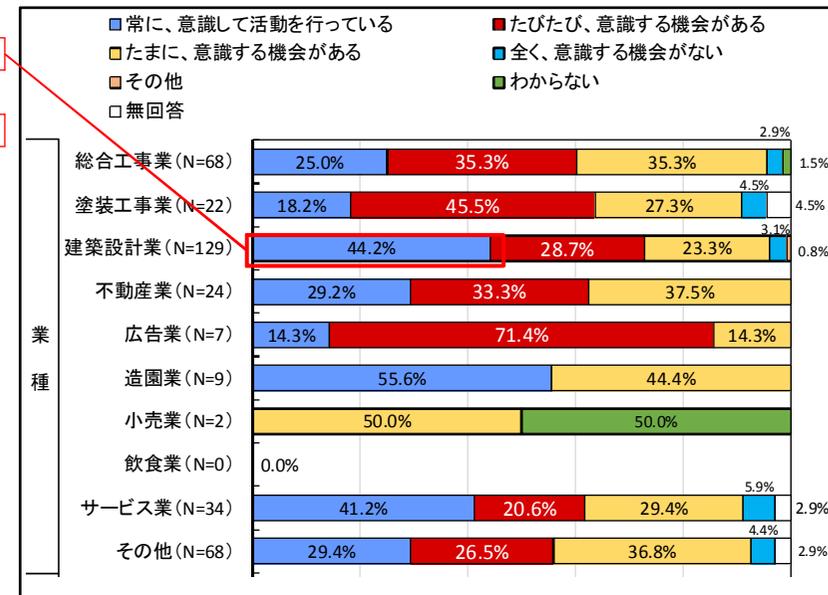


図2 意識する機会 (業種別、札幌での事業・営業状況) 54

3.調査結果(詳細)

問2 景観への意識と取組について

Q2.Q1のようにお答えになったのはなぜですか(全てに○)。

- ・景観を意識する理由として、「**社会貢献の一つであると考えため**」が5割強と最も多く、次いで「イメージアップ、宣伝効果など、間接的に利益につながると考えるため」となっています。
- ・景観を意識しない理由である、「**規制等の遵守など、最低限の取組でよいと考えるため**」が12.3%、「**発注者、施主の考えが優先されるなど、自主的に考えることがないため**」は10.7%と低くなっています。

間接的利益や直接的利益につながるよりも、社会貢献であると考えている事業者が多い。

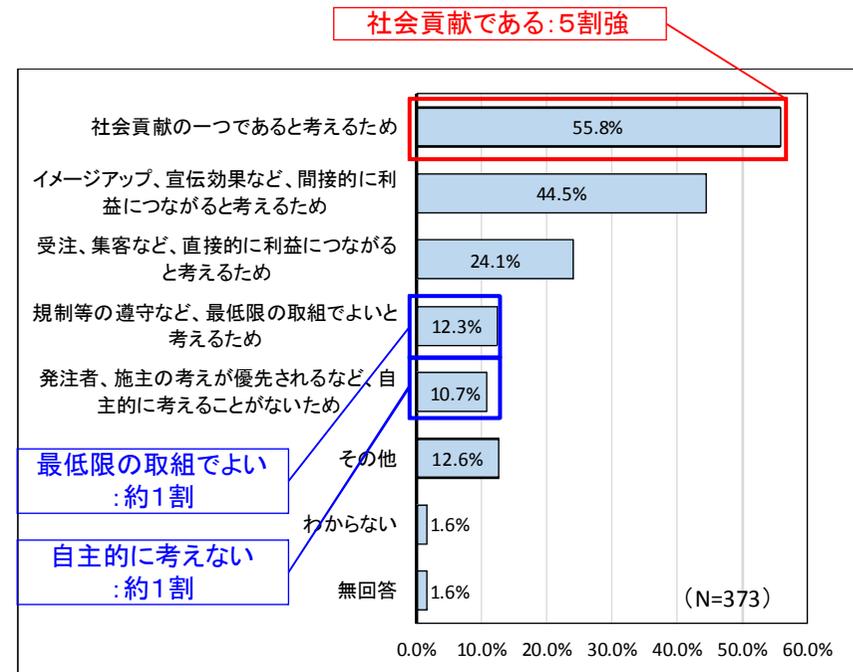


図3 景観を意識する理由

3.調査結果(詳細)

問2 景観への意識と取組について

Q3. (1) 良好な景観形成に向けて、現在どのような取組をされていますか(全てに○)。

- ・「事業所の敷地や周辺道路で花植えや掃除を行う」が約4割と最も多く、次いで「自社建築物の新築の際に、周辺へ配慮した計画とする」となっています。また、「歴史的建物や自然などを大切に活動への参加、支援、寄附」は15.3%と低くなっています。
- ・意識する機会別でみると、すべての取組において、意識する機会が多くなると、割合も高くなる傾向がみられます。

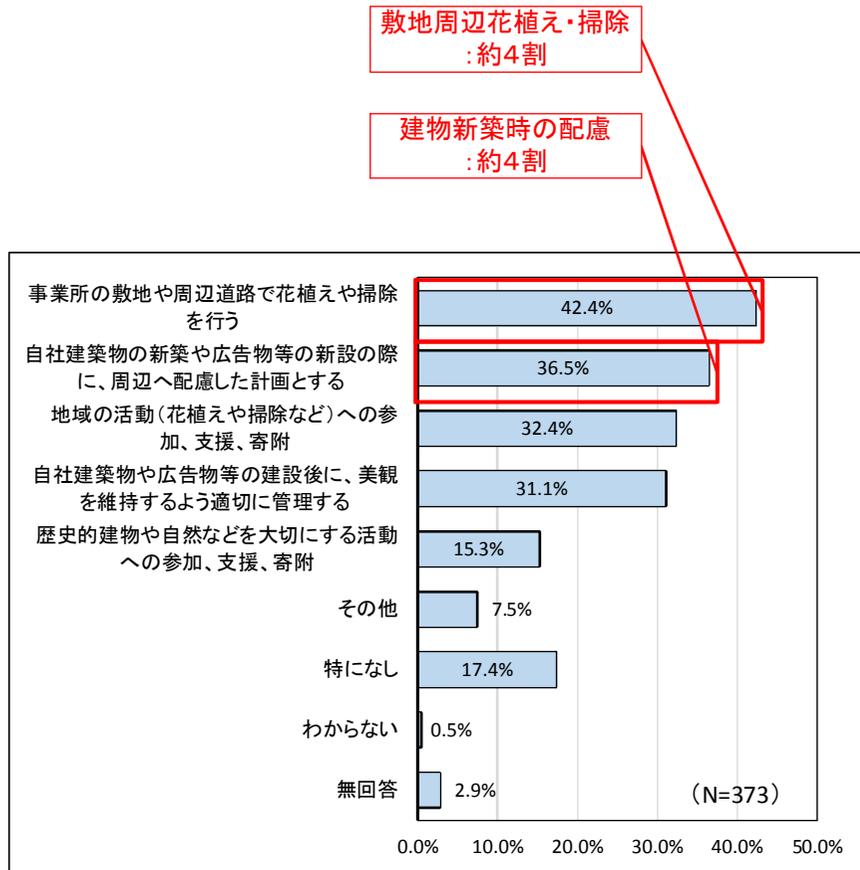


図4 現在行っている取組

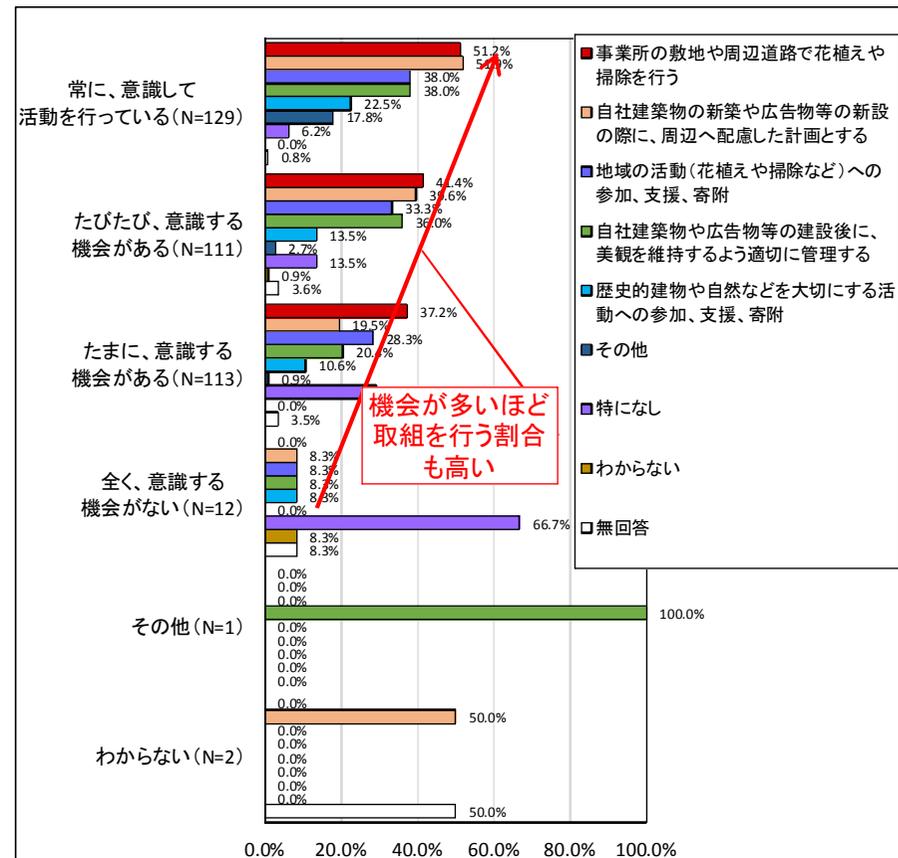


図5 現在行っている取組(意識する機会別)

3.調査結果(詳細)

問2 景観への意識と取組について

Q3. (2) 良好な景観形成に向けて、今後どのような取組をしていきたいと思えますか(全てに○)。

- ・すべての取組で約3割となっていますが、「地域の活動(花植えや掃除など)への参加、支援、寄附」が33.0%と最も多く、次いで「歴史的建物や自然などを大切にしている活動への参加、支援、寄附」は29.5%となっています。
- ・意識する機会別でみると、「常に意識して活動を行っている」は、「歴史的建物や自然などを大切にしている活動への参加、支援、寄附」が多く、「たまに意識する機会がある」は、「地域の活動(花植えや掃除など)への参加、支援、寄附」が多くなっています。

現在の取組と比べて、今後行いたい取組では、「景観資源を大切にしている活動への参加」の割合が倍増している。

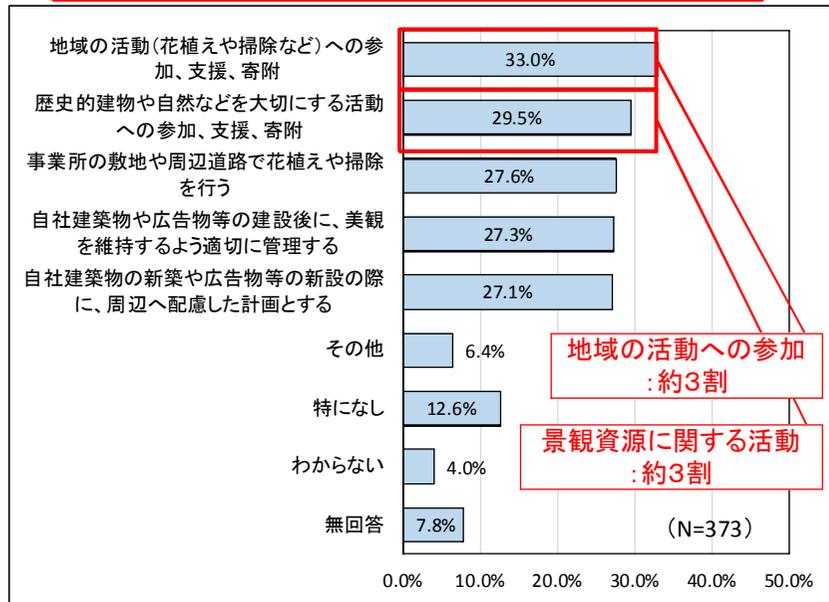


図6 今後行っていきたい取組

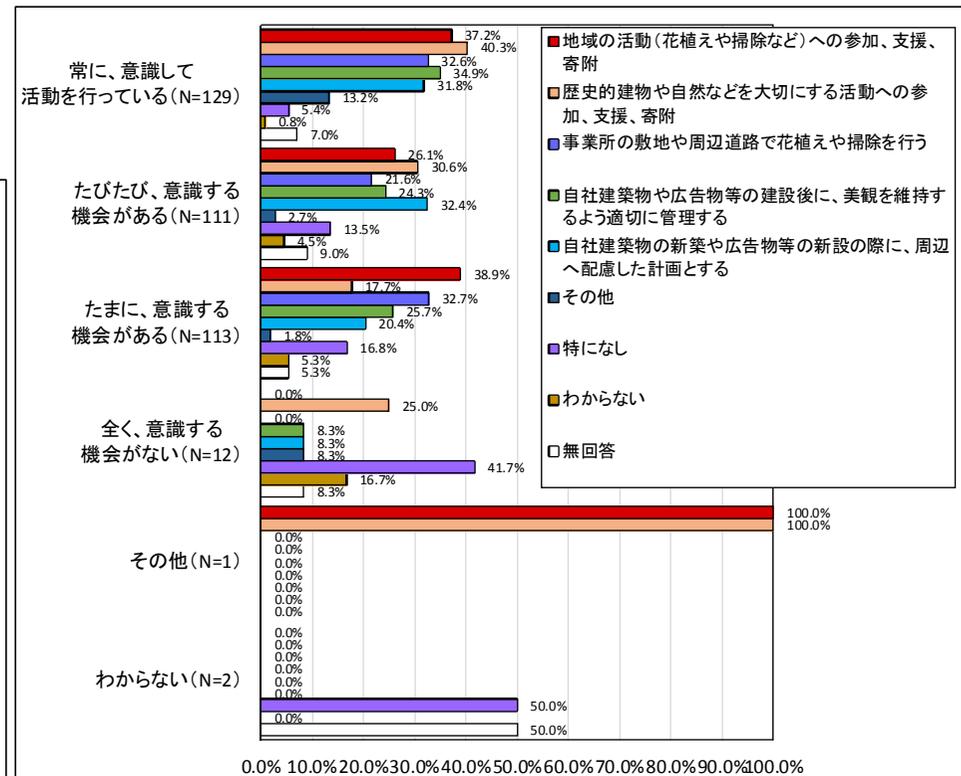


図7 今後行っていきたい取組(意識する機会別)

3.調査結果(詳細)

問2 景観への意識と取組について

Q4. Q3の取組を進めるうえで、どのような支援が必要だと思いますか(1つに○)。

- ・「**景観に関する専門知識や他企業等の取組事例などの情報の提供**」が**3割弱と最も高く**、次いで、「**税の優遇、助成金などの経済的支援**」が**2割強**となっています。また、「**専門家からアドバイスを受けられる相談窓口などの設置**」は**5.2%と低く**なっています。

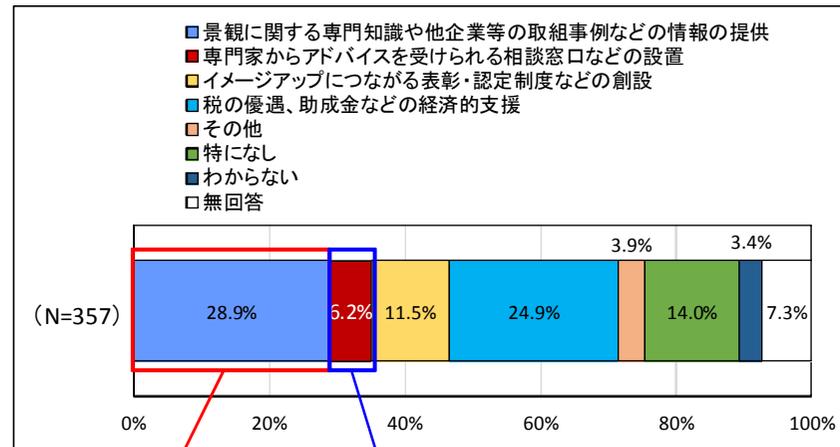


図8 取組を進めるうえで、必要と思う支援

情報提供:3割弱

相談窓口の設置:1割弱

3.調査結果(詳細)

問3 札幌市における景観に関する届出制度(景観法及び都市景観条例)について

Q1.届出制度について知っているもの(全てに○)。※設計業務に携わる方のみが回答

- ・「景観法、札幌市景観計画など関係法令等の名称を知っている」、「景観計画区域において大規模な建築物等の新築・増築などをする際に、法令に基づく届出が必要な事を知っている」が8割を超えています。
- ・業種別でみると、特に建築設計業では「景観法、札幌市景観計画など関係法令等の名称を知っている」が9割を超えています。

札幌市景観計画策定から7年以上経過し、届出制度は設計業務に携わる方におおむね周知されている。

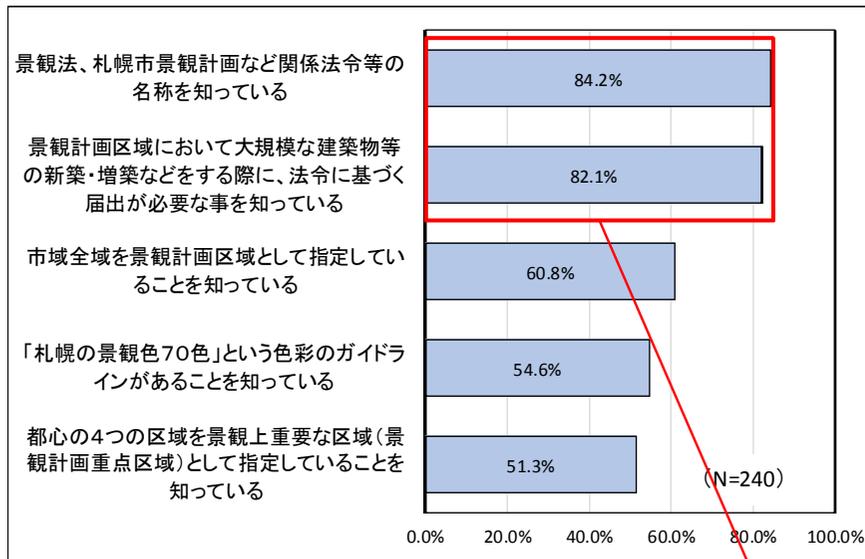


図9 届出制度の認知項目

関係法令等の名称、届出制度:約8割

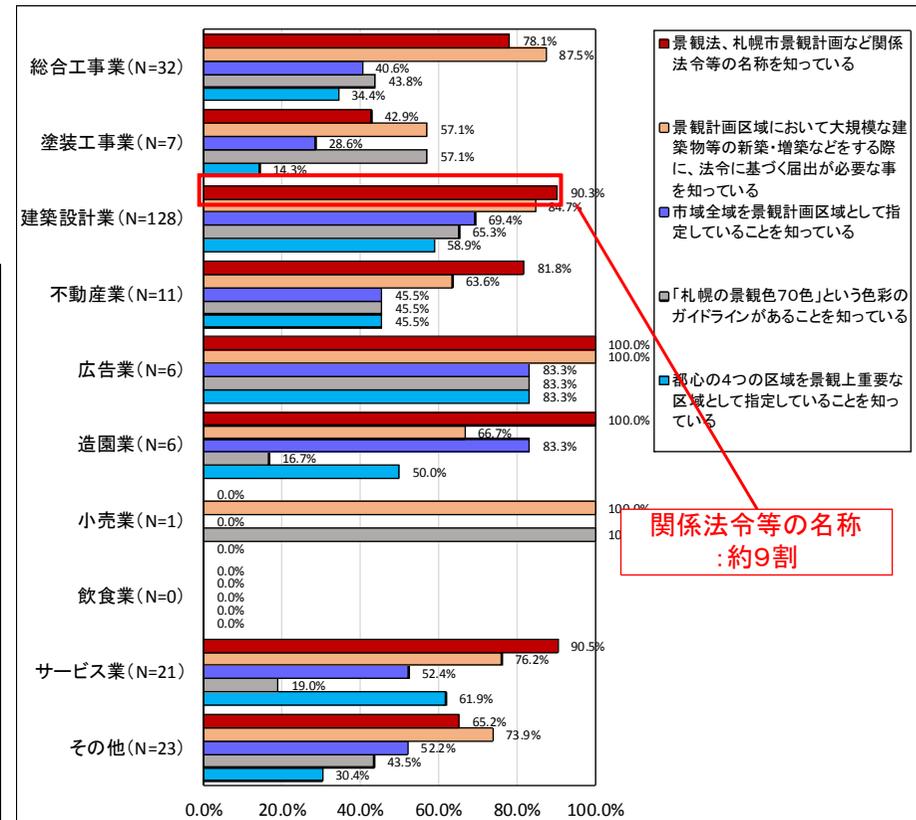


図10 届出制度の認知項目(業種別)

関係法令等の名称:約9割

3.調査結果(詳細)

問3 札幌市における景観に関する届出制度(景観法及び都市景観条例)について

Q2.札幌市へ法令に基づく届出を行ったことがありますか(1つに○)。※設計業務に携わる方のみが回答

・あるが約4割、ないが約6割となっています。

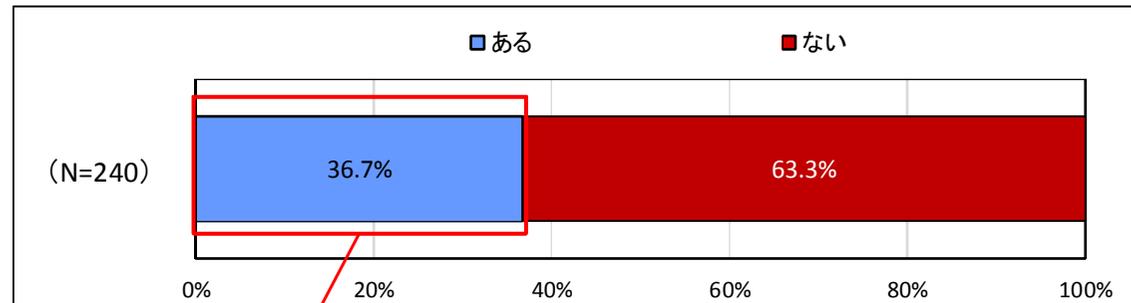


図11 札幌市へ届出の有無

届出を行ったことがある:約4割

3.調査結果(詳細)

問3 札幌市における景観に関する届出制度(景観法及び都市景観条例)について

Q3.届出(事前協議を含む)において、どのような準備を行いましたか(全てに○)。
 ※設計業務に携わる方のうち、届出経験がある方のみ回答

- ・「近景の視点による景観デザインの検討」など、**通常必要と考えられる最低限の準備を行っている割合は多くなっています**が、「中景・遠景の視点による景観デザインの検討」、「敷地周辺の景観資源の調査」など、**より良好な景観形成のために望ましい準備を行っている方は少なくなっています**。

通常必要と考えられる最低限の準備は多くの方が行っている

より良好な景観形成のために望ましい準備を行っている方は少ない

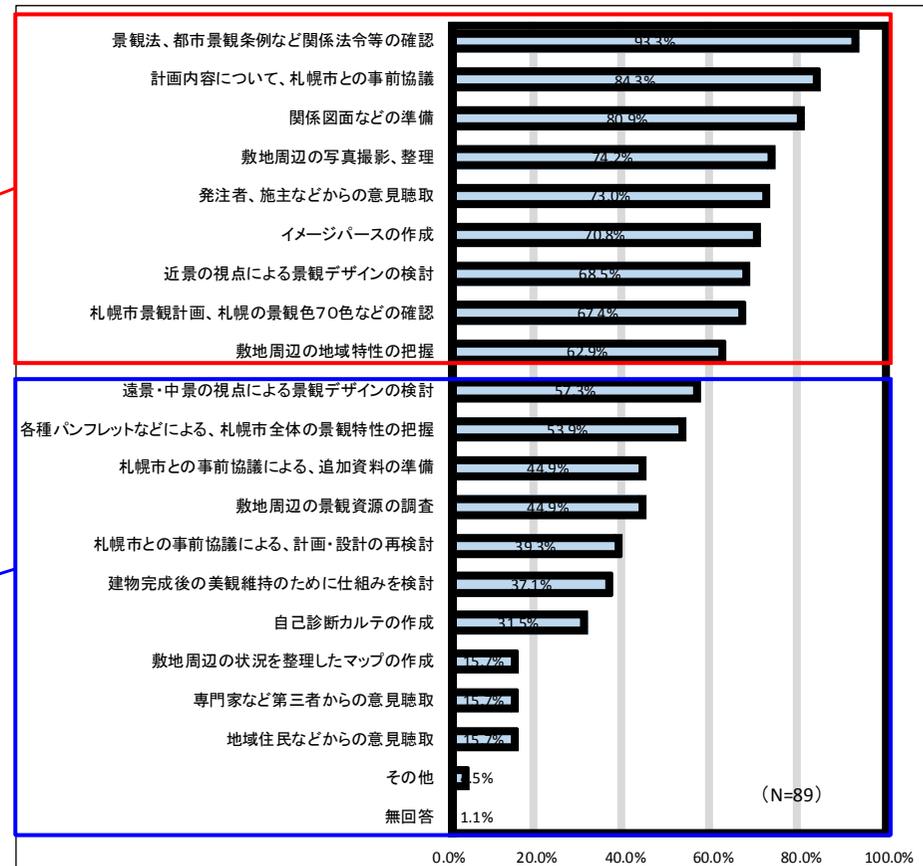


図12 届出準備

3.調査結果(詳細)

問3 札幌市における景観に関する届出制度(景観法及び都市景観条例)について

Q4.Q3の届出(事前協議を含む)における準備について、特に手間がかかった、または負担を感じたのはどの過程ですか(あてはまる場合に○)。※設計業務に携わる方のうち、届出経験がある方のみ回答

- ・「無回答」が約4割と最も多く、届出における準備を「特に手間がかかった」、「負担と感じている」割合は少なくなっています。

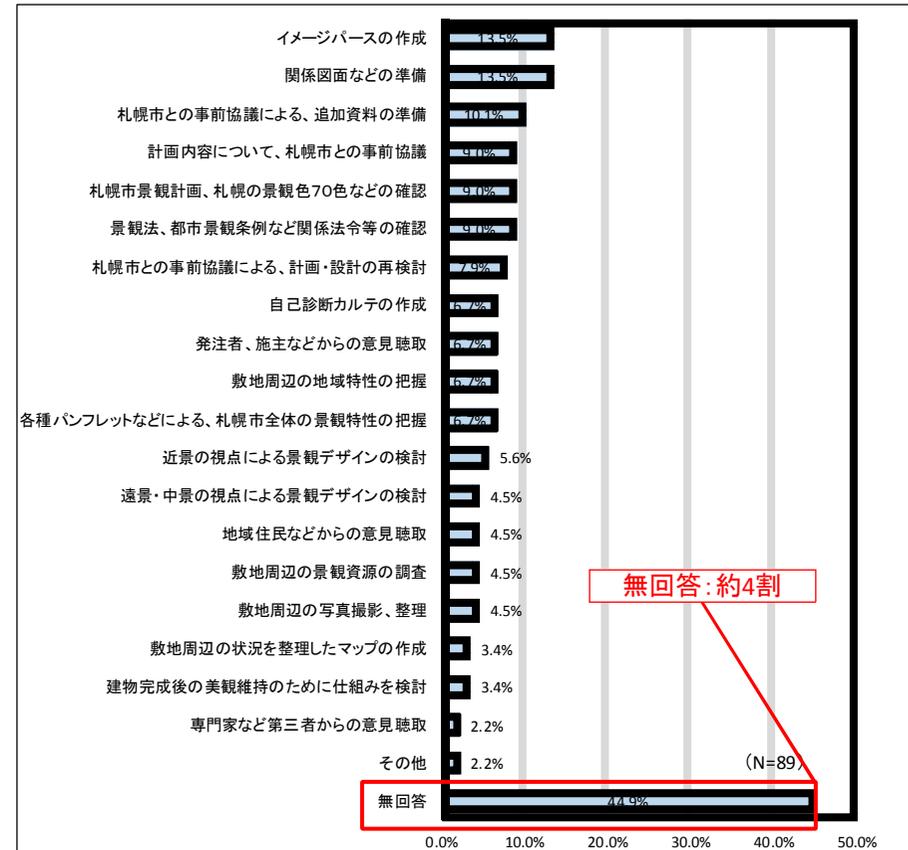


図13 届出準備で手間・負担を感じた過程

3.調査結果(詳細)

問3 札幌市における景観に関する届出制度(景観法及び都市景観条例)について

Q5.景観に配慮した建築物等(工作物や広告物を含む)を計画・設計する際に、特に重視することはどのようなことですか(最も重視するもの1つ、重視するもの3つ)。※設計業務に携わる方のみ回答

- ・計画・設計する際に重視するものは、「**意匠に配慮する**」が約5割と最も多く、次いで、「街並みとの連続感をつくる」、「発注者、施主などの意見」となっており、そのうち最も重視するものは、「**街並みとの連続感をつくる**」が**15.4%**と多くなっています。

景観に配慮した建築物を設計する際に特に重視するのは中景・遠景の視点によるデザイン検討である「街並みとの連続感」の割合が最も多くなっているが、問3Q3の回答では、それらについて実際に準備として行っている割合は少なくなっている。

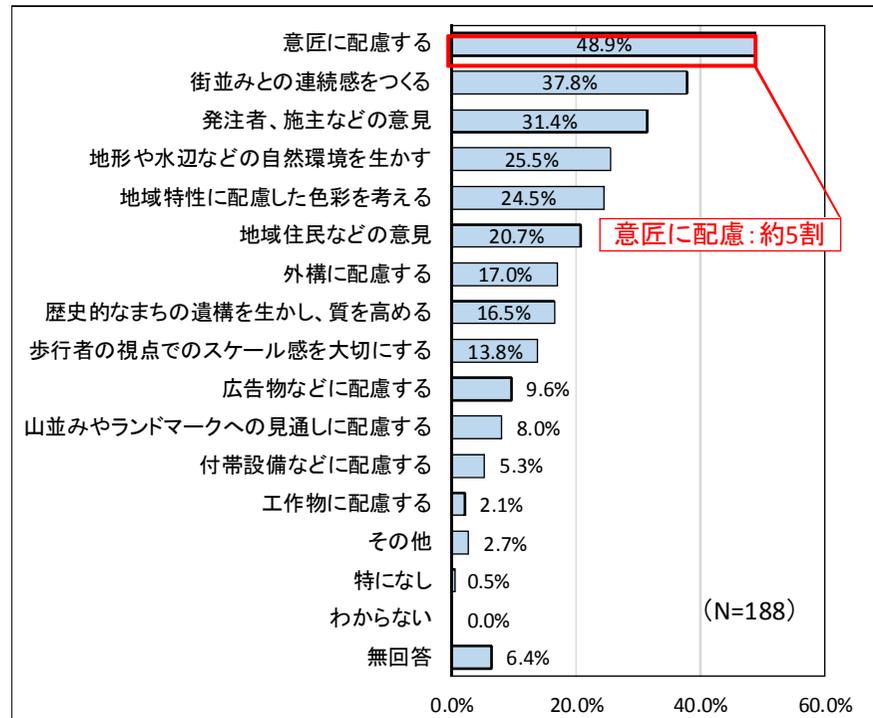


図14 重視するもの

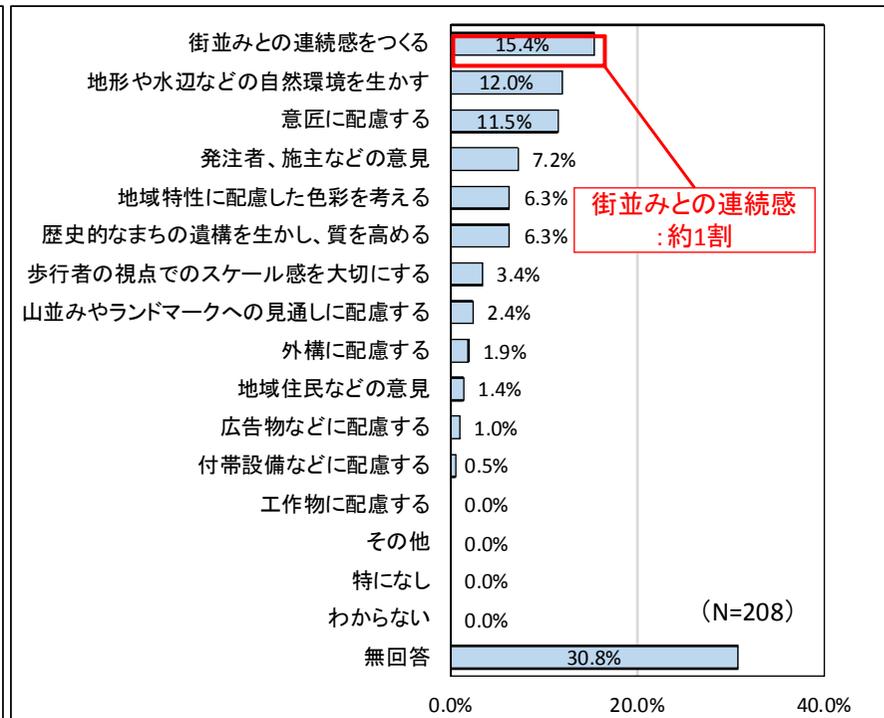


図15 最も重視するもの

3.調査結果(詳細)

問3 札幌市における景観に関する届出制度(景観法及び都市景観条例)について

Q6.札幌市の届出制度に関連して、今後どのような支援があると良いですか(1つに○)。

※設計業務に携わる方のみ回答

- ・今後あると良い支援は、「**具体的な計画・設計の際に参考となる情報の提供**」が約3割と最も多く、以下、講習会や研修会などの開催となっています。また、「**具体的な計画・設計に際しての専門家からのアドバイス**」については5.4%と割合が低くなっています。

情報提供を望む割合は多いが、専門家から直接アドバイス等を望む割合は低い。

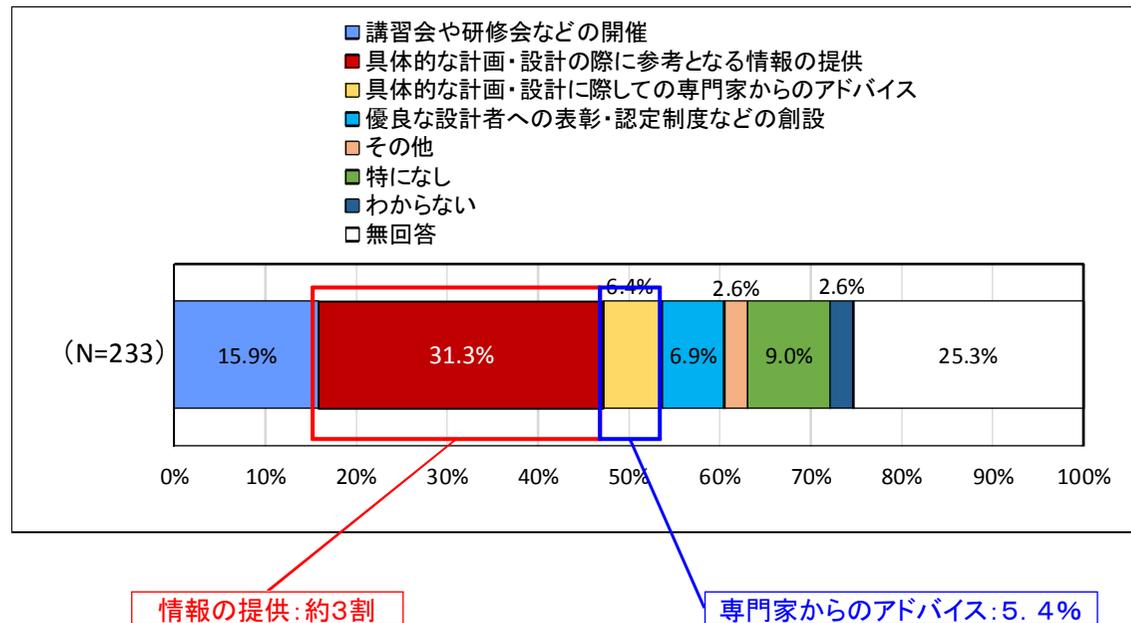


図16 今後あると良い支援

札幌市都市景観基本計画及び札幌市景観計画の見直しの検討に係る

こどもアンケート調査結果

1.調査の概要

(1)調査の対象

札幌市内の小学校から、札幌市の市街化区分や地形区分を考慮し抽出した3年生～5年生の児童1,528名を調査の対象としました。

(2)調査の方法

調査対象の児童に対して、学校への調査協力依頼により学校内で調査票を配布・回収しました。

(3)調査の期間

平成27年2月16日（月）～平成27年3月6日（金） ※集計は、平成27年3月18日（水）回収分までのものについて行いました。

(4)回収結果

1,495名の方からご回答いただき、回収率は97.8%でした。

(5)設問内容

■回答者属性

- ・学年、性別

■住んでいる地域の街並みについて

- ・好きなところ
- ・好きではないところ
- ・住んでいる場所のまちなみを良くするために、やってみたいこと

■住んでいる地域以外の札幌市内で好きな街並みについて

- ・好きなところ

■未来に残っていてほしい札幌の風景や場所について

■夏休みの自由研究で調べてみたいテーマについて

【住んでいる地域の街並みについて】

- ・ **良いと感じている意見が最も多い**一方で、**景観に興味を持っていないと思われる意見も2割程度**ありました。
- ・ 地形や市街地区分に依じて、住んでいる地域の街並みで好きなところが異なる傾向がみられました。

【住んでいる地域以外の札幌市内で好きな街並みについて】

- ・ **都心が好き**だとする意見が最も多く半数程度あり、次いで**自然が好き**だとする意見が多くありました。

【夏休みの自由研究で調べてみたいテーマについて】

- ・ **まちの歴史や自然環境を調べてみたい**という意見が多かった一方で、**建物の色や形を調べてみたい**という意見は少ない結果となりました。

3.調査結果(詳細)

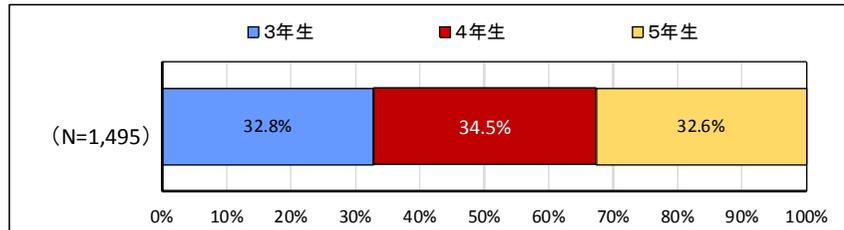
(1)回答者属性

Q1. あなたは、何年生ですか。(1つに○)

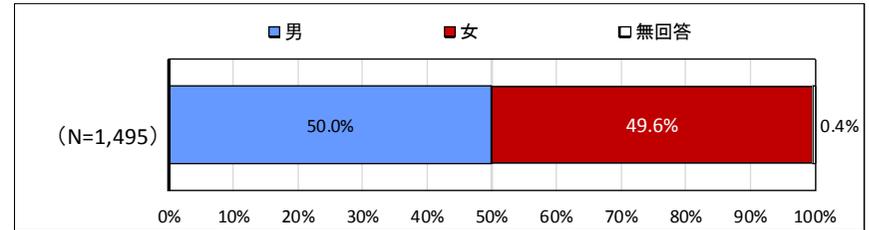
Q2. あなたの性別を教えてください。(1つに○)

- ・学年の内訳は各学年ともほぼ均等となっています。
- ・性別についても、男女ほぼ均等となっています。
- ・学校の所在地域について、市街化区分を当てはめると、郊外住宅地が35.6%でもっとも多く、次いで一般住宅地が約27%、地域交流拠点が18.9%の順となっています。
- ・学校の所在地域について、地形による区分を行ったところ、ほぼ半分が平地であり、山麓地が21.9%、扇状地が25.5%、丘陵地が13.4%となっています。

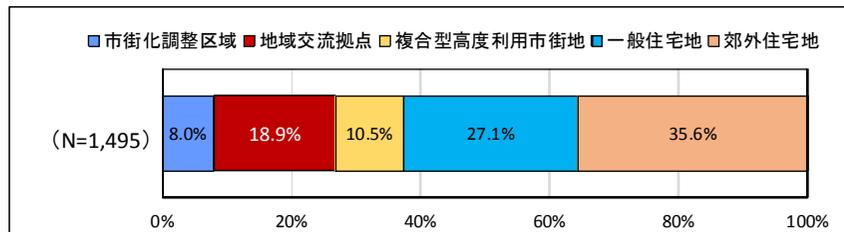
【学年】



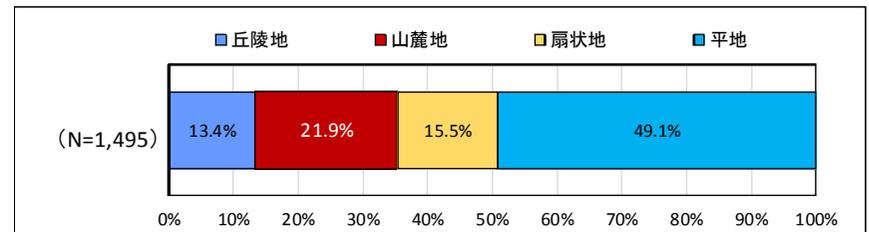
【性別】



【市街化区分】



【地形区分】



3.調査結果(詳細)

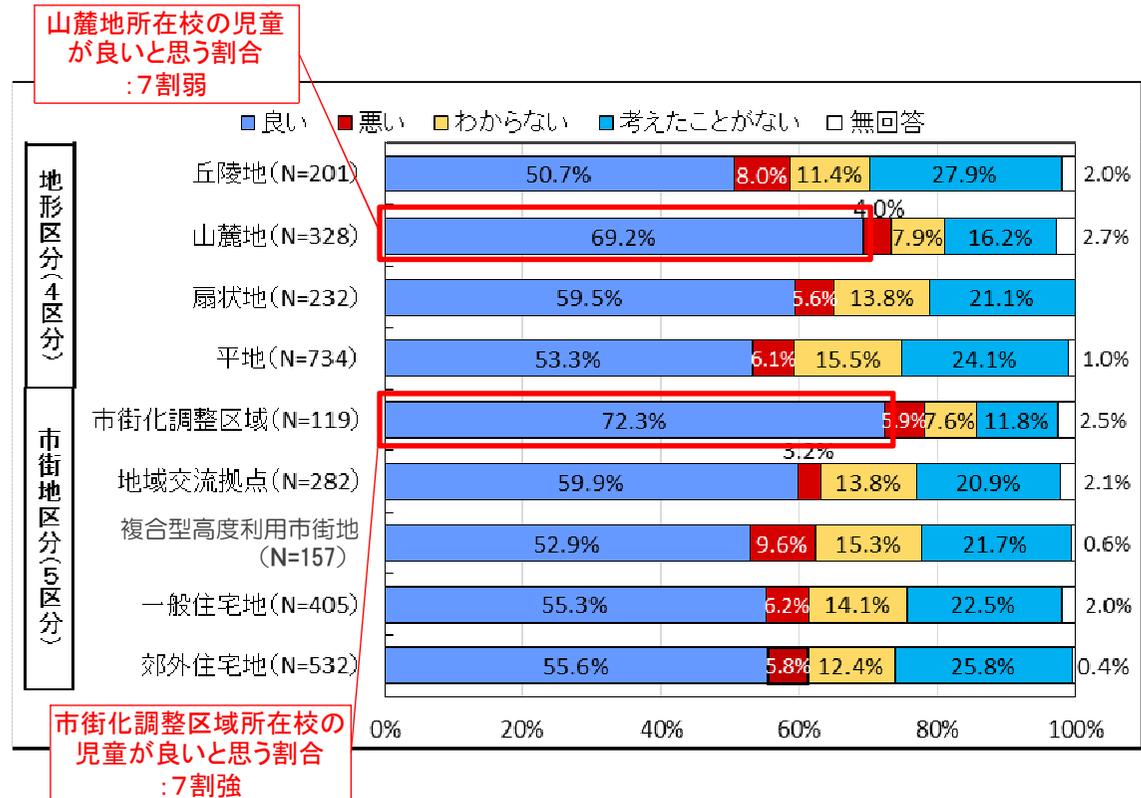
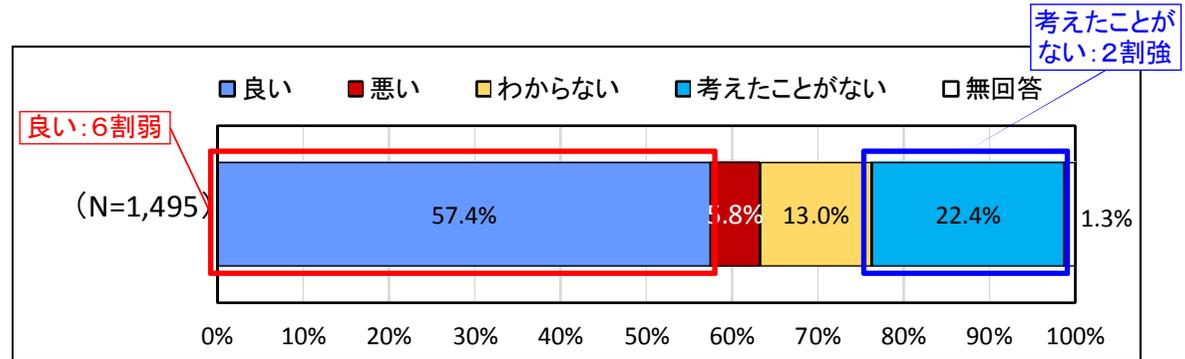
(2)居住地域の街並みの評価

Q3. あなたは今住んでいる場所のまちなみについて、どのように思いますか。(1つに○)

- ・「良い」と感じている児童が6割弱で、以下「考えたことがない」22%、「わからない」13%で、「悪い」と感じる児童は約6%にとまっています。「考えたことがない」という回答が「わからない」より多くなっています。
- ・居住地の地形区分別でみると、**山麓地で良いと感じる割合が高くなっています。**
- ・居住地の市街地区別でみると、**市街化調整区域で良いと感じる割合が高くなっています。**

良いと感じている児童が最も多い半面、景観に興味を持っていないと思われる児童も多い。

自然的特徴が豊かだと想定される地域で、良いと感じる割合が高い。



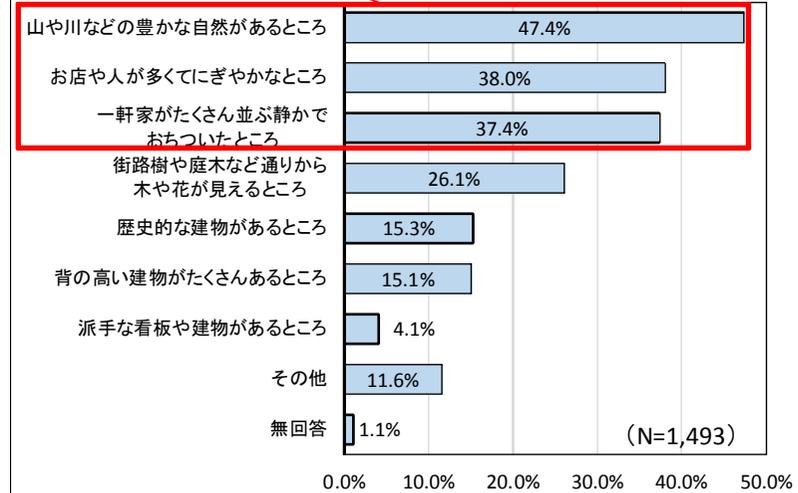
3.調査結果(詳細)

(5) 居住地域の街並みで好きな点(2つの回答の合計)

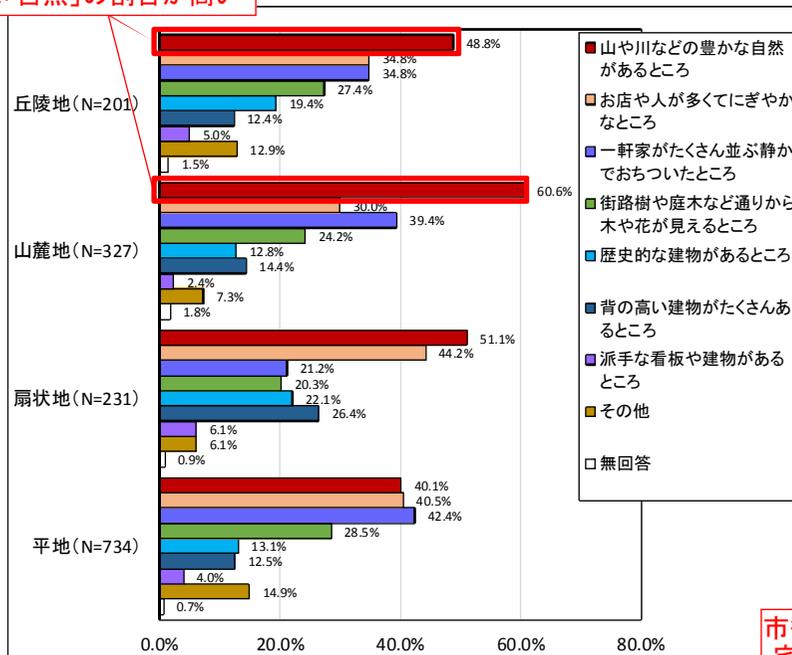
Q4. 住んでいる場所のまちなみで、好きなところはどんなところですか。
(下の【回答欄】に、より好きだと思う順に2つ、番号を書いてください)

- ・住んでいる街並みで好きな点としては、「山や川などの豊かな自然」「お店や人が多くてにぎやか」「一軒家がたくさん並び静かでおちついている」が上位を占めています。
- ・一方、「派手な看板や建物がある」は4.1%にとどまっています。
- ・居住地の地形区別でみると、平地を除く地形では、「山や川などの豊かな自然」の割合が高く、平地では「一軒家がたくさん並び静かでおちついている」がトップになっています。
- ・居住地の市街地区別でみると、市街化調整区域では73.9%が「山や川などの豊かな自然」と回答しています。

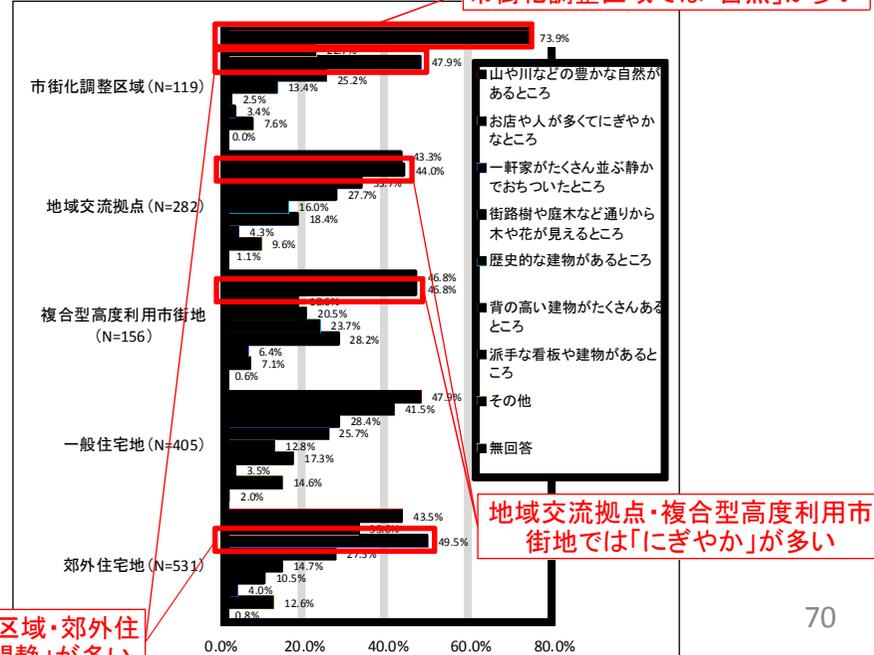
「自然」、「にぎやか」、「閑静」が上位を占める



地形の変化がある場所では「自然」の割合が高い



市街化調整区域では「自然」が多い



地域交流拠点・複合型高度利用市街地では「にぎやか」が多い

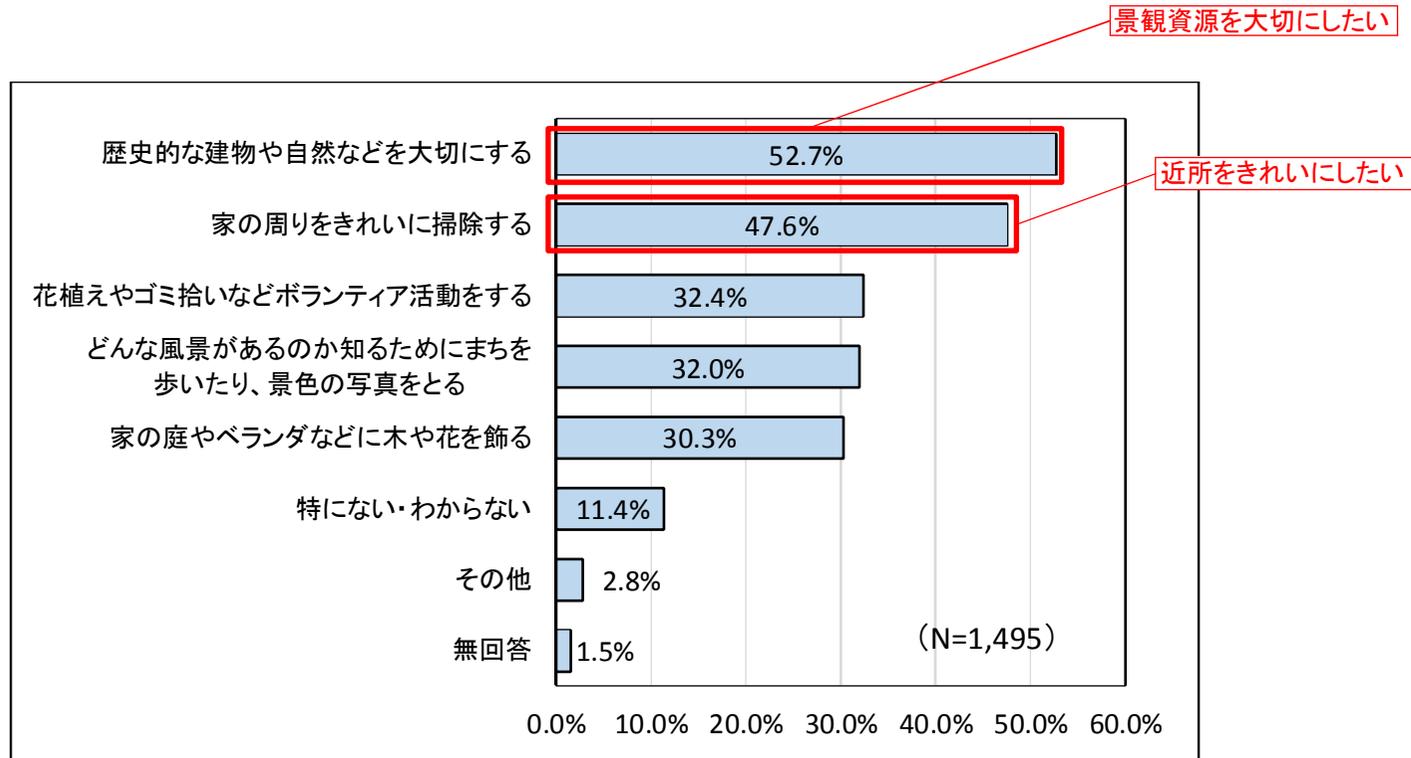
市街化調整区域・郊外住宅地では「閑静」が多い

3.調査結果(詳細)

(7)居住地域の街並みを良くするために、やってみたいこと(複数回答)

Q6. 住んでいる場所のまちなみを良くするために、あなたがこれからやってみたいことはどんなことですか。(あてはまるものすべてに○)

・「**歴史的な建物や自然などを大切に**する」が半数を超え、次いで「**家の周りをきれいに掃除**する」となっています。
一方、特にない・わからないは約1割にとどまっています。

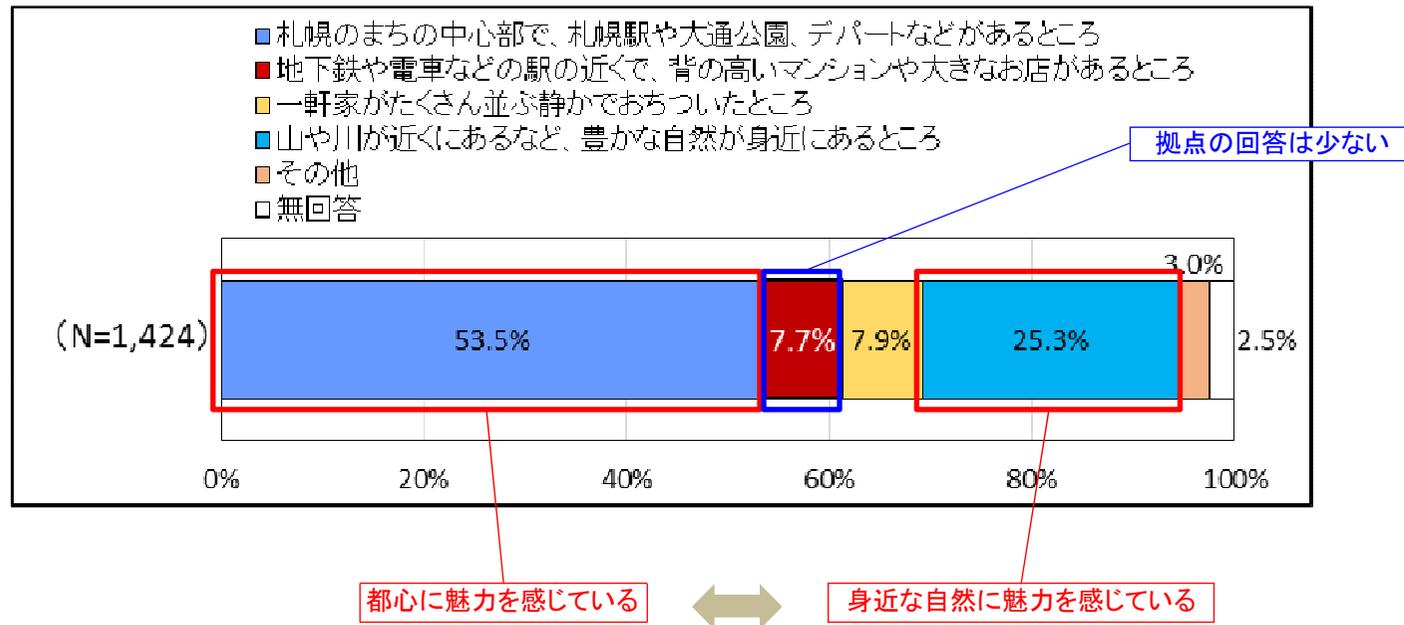


3.調査結果(詳細)

(8) 居住地域以外の札幌市内の街並みで好きな場所

Q7. あなたが知っている、住んでいる場所以外の札幌のまちなみで、好きなところはどんなところですか。(1つに○)

- ・住んでいる地域以外の札幌市内で好きな街並みとしては、半数以上が「札幌のまちの中心部で、札幌駅や大通公園、デパートなどがあるところ」と回答しています。また、次いで「山や川が近くにあるなど、豊かな自然が身近にあるところ」の割合が高くなっています。一方で「地下鉄や電車などの駅の近くで、背の高いマンションや大きなお店があるところ」の割合が低くなっています。



3.調査結果(詳細)

(10)夏休みの自由研究で調べてみたいテーマ

Q9. 最後に、もし夏休みなどの自由研究で調べるとしたらどんなことですか。(1つに○)

- ・夏休みの自由研究で調べてみたいテーマとしては、多い順に「**住んでいるまちの生きものや植物のこと**」「**住んでいるまちの歴史のこと**」と回答しています。一方で「**建物などの色や形のこと**」については少なめの回答となっています。

